

# 令和4年度高等学校入学者選抜審議会 第2回専門委員会

日時 令和4年10月20日(木)

午前10時～正午

場所 行政庁舎11階 第二会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 報告・審議

- (1) 【報告】第1回専門委員会の審議確認について
- (2) 【審議】宮城県公立高等学校入学者選抜に係る  
質問紙調査集計結果詳細分析について
- (3) 【審議】今後の定着に向けての改善の方向性について
- (4) 【審議】第2回高等学校入学者選抜審議会への中間報告について

### 3 その他

### 4 閉 会

### 【 資料 】

- 資料 入試制度検証関係資料

# 高等学校入学者選抜審議会条例

(昭和28年3月28日条例第40号)

最終改正 平成24年12月条例第71号

**第1条** 教育委員会の諮問に応じ、高等学校の通学区域の検討、入学者の選抜の方法及びその実施並びに学力検査問題の作成について調査審議するため、高等学校入学者選抜審議会（以下「審議会」という。）を置く。

**第2条** 審議会は、30人以内の委員で組織する。

2 審議会に、専門の事項を調査研究させるため、専門委員を置く。

**第3条** 委員及び専門委員は、学校の教職員、総合教育センターの職員、教育庁の職員及び学識経験者のうちから教育委員会が任命又は委嘱する。

**第4条** 委員の任期は二年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 教育委員会が必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず、任期中においても当該委員を解職することができる。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査研究が終了したときは、退任するものとする。

**第5条** 審議会に、委員長及び副委員長各一人を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、会務を掌理する。

3 副委員長は、委員長に事故あるとき、その職務を代行する。

**第6条** 審議会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

**第7条** この条例に定めるものを除く外、審議会の議事の手続その他審議会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議にはかつて定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和47年10月11日条例第27号抄）

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年12月20日条例第71号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

## 高等学校入学者選抜審議会 第2回専門委員会 名簿

(専門委員)

No.	氏 名	現 職	備 考
1	熊谷 龍一	東北大学大学院教育学研究科 准教授	入選審委員
2	浅野 直美	宮城県PTA連合会 副会長	入選審委員
3	高橋 千春	栗原市立築館中学校 校長	入選審委員
4	佐藤 和夫	蔵王町立遠刈田中学校 教頭	
5	河本 和文	東北学院榴ヶ岡高等学校 校長	
6	茂木 悟	宮城県名取高等学校 校長	
7	佐々木久晴	宮城県宮城広瀬高等学校 教頭	
8	菅井 理恵	総合教育センター 所長	入選審委員

(教育庁)

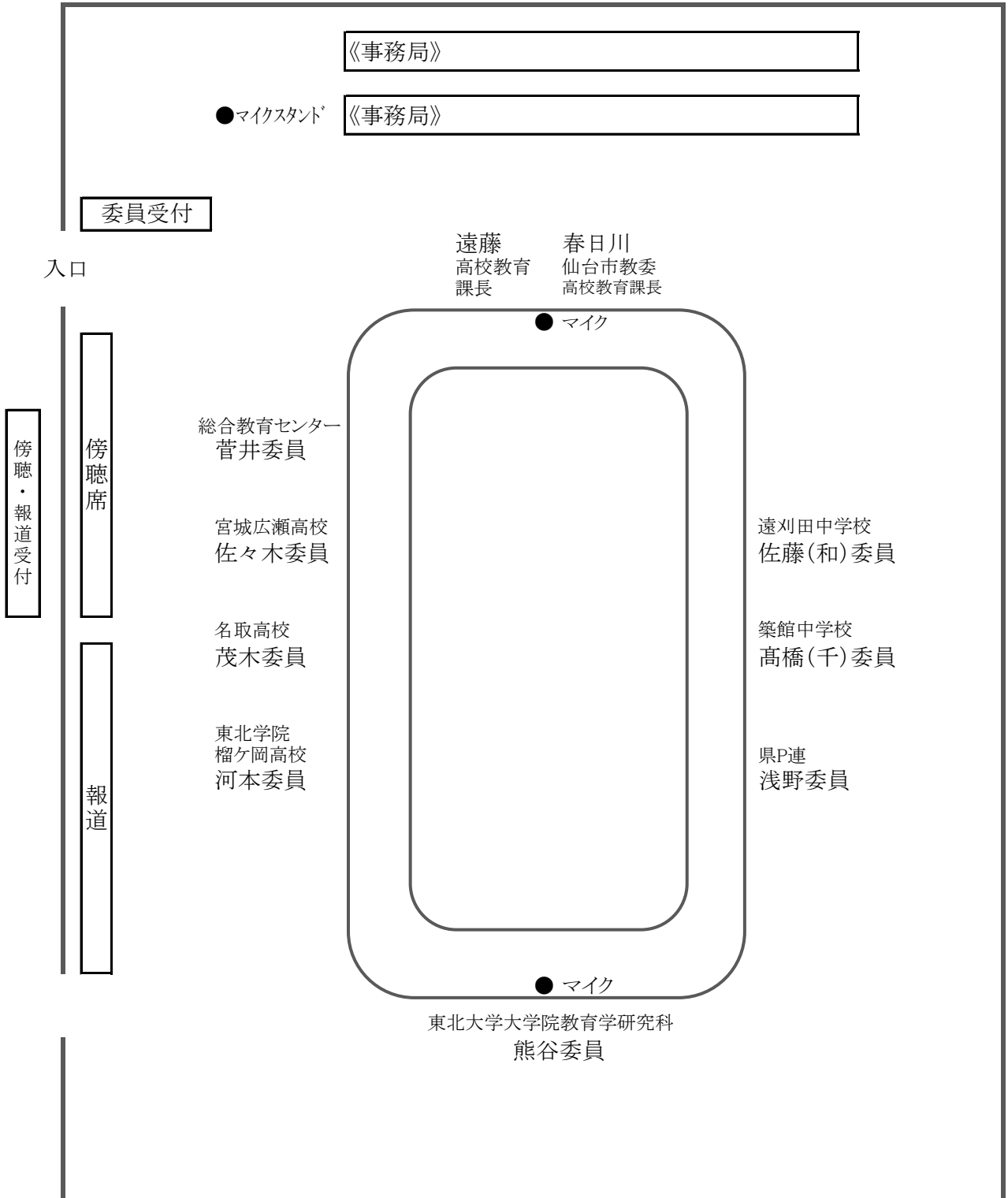
高校教育課 課長	遠藤 秀樹
総括課長補佐	後藤 康弘
副参事兼総括課長補佐	佐藤 和寛
教育指導第一班課長補佐	櫻井 知大
〃 主幹	上園 知明
〃 主幹	菊地 芳浩
〃 主幹	鎌田 幹子
〃 主幹	菊地 賢一
〃 主任主査	岡田 康佑
教育指導第二班課長補佐	早川 健次
〃 主幹	赤間 裕樹
〃 主幹	清原 和
〃 主査	幸田 雄介

(仙台市教育局)

学校教育部 高校教育課 課長	春日川 孝
〃 指導主事	末永 光洋

令和4年度 高等学校入学者選抜審議会 第2回専門委員会 座席図

県行政庁舎11階 第二会議室



## 第2回専門委員会 入試制度検証 関係資料

### 審議

- (1) 【報告】 第1回専門委員会の審議確認について . . . p 1
- (2) 【審議】 質問紙調査集計結果詳細分析について
- 中学校 . . . p 5
  - 高等学校 . . . p 12
  - 生徒 . . . p 18
  - 保護者 . . . p 24
  - 自由記述（生徒・保護者） . . . p 30
  - 平成28年度実施質問紙調査との比較 . . . p 31
- (3) 【審議】 今後の定着に向けての改善の方向性について . . . p 36
- (4) 【審議】 第2回高等学校入学者選抜審議会への中間報告について . . . p 39

## 第1回専門委員会における審議内容（抜粋）

令和4年9月27日実施

## (1) 専門委員会委員長選出

- 高等学校入学者選抜審議会副委員長  
東北大学大学院教育学研究科 准教授 熊谷 龍一 委員に決定

## (2) 検証作業のスケジュール確認

- 検証のための専門委員会は3回の予定  
第1回9月、第2回10月、第3回来年6月頃
- 報告は、途中経過も含めて2回の予定  
中間報告：11月実施予定の令和4年度第2回審議会  
最終報告：来年7月頃実施予定の令和5年度第1回審議会

## (3) 入試制度導入まで及び導入後の経過についての報告

- 旧制度における3つの大きな課題の確認
  - ① 複数の受験機会の確保に伴う入試期間の長期化
  - ② 特色ある選抜の在り方
  - ③ 入試事務の在り方
- 新入試制度への改善の主な観点
  - ・前期選抜と後期選抜の入試日程を一本化し、入試期間の長期化を解消する。
  - ・各高等学校の特色をより明確に示した上で、その特色に基づいて、学力と同時に生徒の資質・能力についても多面的に評価する。
  - ・各高等学校が求める生徒像を提示することで、中学生の目的意識の明確化及び主体的な進路選択を促進する。

## (4) 過去4年間の宮城県公立高等学校入学者選抜結果概要についての審議

- 新入試制度下での3カ年の実施状況を旧入試制度下最後の平成31年度入試と比較検証
  - ・入試期間の長期化は改善され、それに伴い、入試事務の負担が軽減している。
  - ・前期合格者の学力と授業へのモチベーションの維持という課題が解消されている。
  - ・前期選抜における多くの不合格体験を無くすことで精神的不安定を軽減している。
  - ・入試制度とは別になるが、就学支援の関係で私立と公立の格差軽減に伴う影響も課題。
  - ・公立の結果のみを見て中学生の動向を見るのは難しい。

## (5) 宮城県公立高等学校入学者選抜に係る質問紙調査実施要項についての報告

- 質問紙調査の概要確認
  - 中学校（悉皆で回答 82）：20項目＋自由記述
  - 高等学校（悉皆で回答 215）：16項目＋自由記述
  - 生徒（任意で回答 3,011）：12項目＋自由記述 ※36.6%の回答率
  - 保護者（任意で回答 2,095）：12項目＋自由記述 ※25.5%の回答率
- ・Webでの質問紙調査は10%程度の回収率が多い中で、今回の回収率はかなり高い値との評価であるが、重複回答や回答内容の信憑性とのバランスが課題となる。

## (6) 宮城県公立高等学校入学者選抜に係る質問紙調査集計結果についての審議

## ○中学校

### 【質問紙の分析】

- ・高校入試と学習意欲の関係について
  - 学習意欲を高める要素となっている
- ・求める生徒像・選抜方法について
  - 記載内容や意識の高揚及び主体的な進路選択への効果が高く評価されているが、学習習慣を身に付けることとの関係性は一定の評価止まり。
  - 受験生の理解に効果があるとともに、教員の理解及び進路指導資料としても高く評価されているが、中学校生活の充実への影響については一定の評価止まり。
- ・入試日程を一本化したことについて
  - 追試験の導入は安心感につながっているが、公立の入試だけではなく国立や私立の入試も併せて考えれば、緊張の継続、クラス運営上の負担、生徒対応の時間、入試事務量の負担軽減、教育活動の充実は、評価はされているものの、大きく改善されているとまではならない。
  - 共通選抜と特色選抜の十分な考慮については自由記述の詳細分析必要である。
- ・出願希望調査について
  - 出願動向を知るために有効である。
- ・入試日程について
  - 窮屈ながらも評価されている。

### 【審議内容】

- ・クラス運営上の負担軽減については、公立以外に国立や私立の受験があり、早期に合格している生徒がクラスの中に数名いる中で3月の高校入試を迎えるため、今回の結果はやむを得ない。
- ・受験生としての緊張の継続と合格した生徒と受験を控えた生徒の混在によるクラス経営上の負担は、私立を受験する生徒の人数の違いにより異なると思われる。私立を受験することが当たり前前の地域では負担はあまり軽減されていないと感じると思う。
- ・入試期間が短くなったとはいえ、1月から3月の時期は、受験生の体調管理や年度末の考査や事務整理も考慮すると、行事等を充実させることは難しく数字は上がってこない。
- ・共通選抜と特色選抜を考慮した進路選択については、中学校現場でもう少し生徒に噛み砕いて説明する必要性を感じている。
- ・求める生徒像・選抜方法の冊子は一部の教員からも読みづらさの意見がある。
- ・求める生徒像は、各学校で記載内容が当たり前のことが共通していることが多いので、それ以外のこともわかりやすく書いていただきたいとの意見もある。私立の資料は具体的なポイントが打ち出されていて生徒はわかりやすいと思う。
- ・入試事務の負担は、ここ2、3年はどうしてもコロナ禍での受験のため、制度による軽減を上回る負担があると思われる。
- ・選抜方法の部分では、生徒目線のイラストなどがあると進路指導上も説明しやすい。

## ○高等学校

### 【質問紙の分析】

- ・求める生徒像・選抜方法について
  - 記載内容、目的意識の向上、主体的な進路選択、特色ある学校づくりそれぞれへの影響を高く評価し、受験生や中学校教員の理解にも効果があると認識している。
- ・入試日程を一本化したことについて
  - 入試期間が短くなり、在校生の対応や教育活動の充実の効果を受けているが、入試

業務の負担軽減が大きく効果があるとまでは言えない。複数の選抜機会の維持や多面的な評価についても一定の評価にとどまっている。

- ・ 出願希望調査について  
→ 高く評価されている
- ・ 入試日程について  
→ 窮屈ながらも評価されている。

#### 【審議内容】

- ・ 求める生徒像・選抜方法は高校としては必要な情報・内容を記載しているつもりであるが、冊子の内容だけでは不十分である中学校の先生方の話から感じた。
- ・ コロナ禍で難しかったので仕方ないが、求める生徒像・選抜方法を学校説明会等で説明する機会があればより理解が進むと感じた。
- ・ 求める生徒像については、学力的な要素などをもっと具体的にする必要はある。意外と保護者の受けが悪いのは、子どもが中学校生活のどのような部分がどのように評価されるかがわからないためである。
- ・ 選抜方法の部分では、イメージできることが重要。イメージするもので誤解を受ける恐れもあるので慎重に検討する必要があるが、イラストなどがあるとイメージしやすい。
- ・ 入試業務の負担については、1月2月が在校生等に対する時間確保ができたところは良いが3月の入試業務はタイトなため負担軽減しているとまでは感じられていない。
- ・ 大きな課題は特色選抜の透明性。共通選抜と特色選抜のどちらで合格したかわからなければ自分のどの部分が評価されたのかという結果が見えない。
- ・ 学習意欲及び学習習慣を身に付けるところは、中学校及び高校共にそれほど高くない。入試制度の問題というより、中学校及び高校の期待する学習指導の在り方の問題。中学校の学習指導及び高校入試の問題、高校の学習指導の3つの連動性が、がちぐはぐになっている結果である。
- ・ 負担軽減の部分では、入試事務と限定せずに入試に関わる業務として具体的な項目を聞いてみてもよかったかもしれない。

### ○生徒及び保護者

#### 【質問紙の分析】

※生徒及び保護者の傾向は、ほぼ同じような傾向を示した。

- ・ 高校入試について  
→ 将来を考える機会、学習意欲の高揚、学習習慣を見に付けることには、一定の評価があるが、3割の否定的な評価について詳細を確認する必要がある。
- ・ 求める生徒像・選抜方法について  
→ 記載内容、わかりやすさ、高校の理解、進路意識の高揚、主体的な進路選択について一定の評価をされている。
- ・ 追試験の導入について  
→ 安心感につながっていると評価されるが、保護者ほど生徒は感じていない。
- ・ 出願希望調査について  
→ 役に立っている。
- ・ 入試日程について  
→ 一定の評価を受けている。
- ・ 2つの選抜方法について  
→ 半数以上の評価があるものの、詳細を確認して課題を検証する必要あり。

#### 【審議内容】



- ・入試や勉強自体に注力するためには保護者のサポートが絶対に必要になるので、地区別の説明会に参加したり、中学校での面談で情報共有し、制度についても生徒と一緒に理解していくことが重要である。
- ・精神的な影響で生徒と保護者の回答に少し開きがある部分については、子どもの家庭での様子を保護者がしっかりと見て、家庭での話し合いを十分にしたいと感じる。

## ○横断的分析

### 【質問紙の分析】

- ・高校入試について
  - 生徒と保護者はほぼ同じ程度の評価で、学習意欲の高揚については、中学校が思っているほど生徒や保護者は影響を感じていない。
- ・求める生徒像・選抜方法について
  - 中学校や高等学校はどの項目も高く評価しているが、実際に受験した生徒や見守った保護者は学校に比べると評価は低めになっている。特に、内容やわかりやすさは一定の評価があるものの改善の余地があると思われる。
- ・入試日程を一本化したことについて
  - 入試事務を考慮すると中学校及び高校共に評価されているが、高校では、業務の大幅な軽減とまでは感じていない。
  - 共通選抜と特色選抜の違いの不透明さや特色選抜の割合が低い高校が多いことから複数の選抜については今ひとつ評価が高くはなかった。
- ・追試験について
  - コロナ禍であったこともあり、高く評価されているが、実際に受験した生徒の評価がカテゴリーの中では割合が伸びなかった。
- ・出願希望調査について
  - 高く評価されている
- ・入試日程について
  - 窮屈ながらも高く評価されている。

## ○自由記述（中学校・高等学校）

※自由記述を内容により分類し、事務説明会等で対応できるものと今後検討の可能性があるもの、その他とし、可能性があるものを中心に検討を進める。

### 【中学校】

- 日程について
- 求める生徒像について

### 【高等学校】

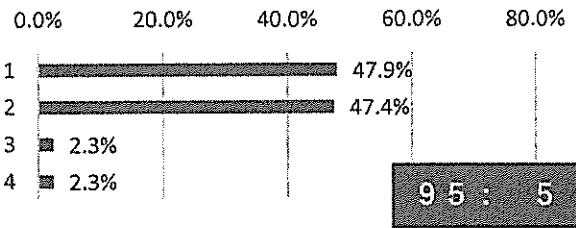
- 共通選抜と特色選抜の扱い
- 日程について
- 追試験について
- 第2志望の選抜方法について

## （7）第2回専門委員会の確認

- 「公開」で実施
- 令和4年10月20日（木）午前10時から正午で実施予定

(1) 中 (1) 【Q1】 高校入試という目標が、生徒が日頃の学習意欲を高めることに役立っている。

1：そう思う	103	47.9%
2：どちらかといえばそう思う	102	47.4%
3：どちらかといえばそう思わない	5	2.3%
4：そう思わない	5	2.3%
回答数合計		215



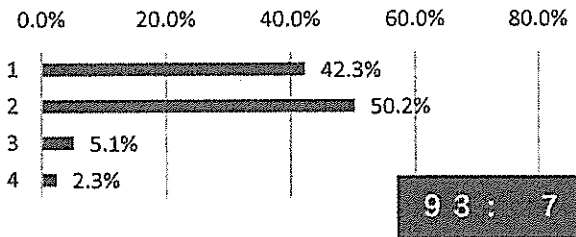
【比較】 生徒Q2，保護者Q2

区分	主な自由記述内容【記述数49 (22.8%) 1or2の記述48, 3or4の記述1】
評価事項	・目標が明確化され、努力する行動や言動に変化があるなどの記載 (21件) ・3年生になると意識の向上が見られたなどの記載 (15件)
課題事項	・1, 2年生には難しい。

(2) 中 (2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑧の質問にお答えください。

① 【Q2】 生徒が、志望校選択や受験する上で、必要な内容が記載されている。

1：そう思う	91	42.3%
2：どちらかといえばそう思う	108	50.2%
3：どちらかといえばそう思わない	11	5.1%
4：そう思わない	5	2.3%
回答数合計		215

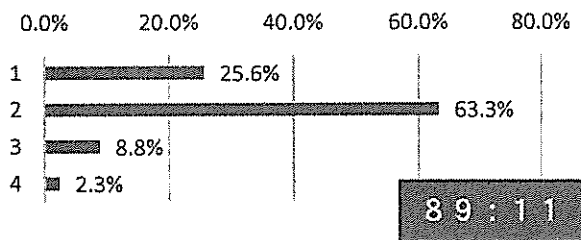


【比較】 高等学校Q1，生徒Q4，保護者Q4

区分	主な自由記述内容【記述数33 (15.3%) 1or2の記述27, 3or4の記述5】
評価事項	・必要な内容が示してあり、生徒が志望校を選ぶ上で重要な情報を得られるなどの記載 (15件) ・生徒がよく調べていたや進路指導に活用できたなどの記載 (6件)
課題事項	・わかりにくく、他の学校とあまり差がないように感じるなどの記載 (8件)

② 【Q3】 受験生の進路に対する意識を高めることにつながっている。

1：そう思う	55	25.6%
2：どちらかといえばそう思う	136	63.3%
3：どちらかといえばそう思わない	19	8.8%
4：そう思わない	5	2.3%
回答数合計		215

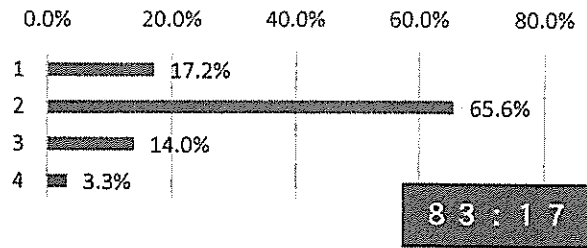


【比較】 高等学校Q2，生徒Q7，保護者Q7

区分	主な自由記述内容【記述数31 (14.4%) 1or2の記述21, 3or4の記述10】
評価事項	・しっかり読み込んで進路決定の指針となり意欲を高めたなどの記載 (14件)
課題事項	・内容を確認していないや家庭により温度差があるなどの記載 (3件) ・数値的なものなど具体的な内容で示さないとわかりにくいなどの記載 (3件)

③【Q4】受験生の意思や判断に基づいた主体的な進路選択につながっている。

1 : そう思う	37	17.2%
2 : どちらかといえばそう思う	141	65.6%
3 : どちらかといえばそう思わない	30	14.0%
4 : そう思わない	7	3.3%
回答数合計	215	

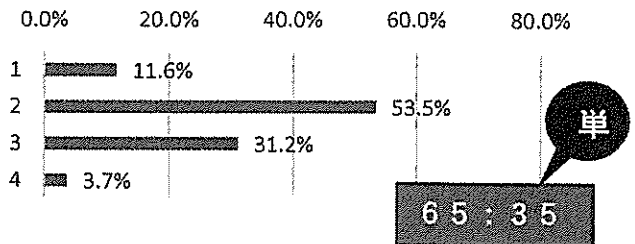


【比較】高等学校Q3, 生徒Q8, 保護者Q8

区分	主な自由記述内容【記述数31 (14.4%) 1or2の記述19, 3or4の記述12】
評価事項	・自分の特性を生かした進路選択の参考になるなどの記載 (11件)
課題事項	・冊子自体を見ていない生徒がいるなどの記載 (5件) ・進路実績や教育課程などを重視して参考にしていないなどの記載 (3件)

④【Q5】日頃の中学校生活において、生徒が学習習慣を身に付けることに役立っている。

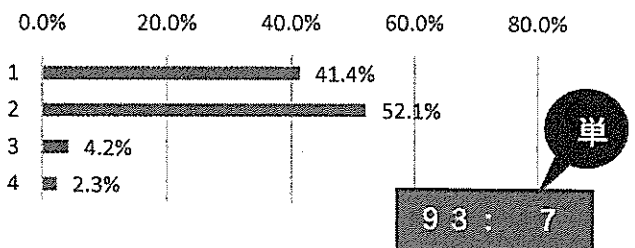
1 : そう思う	25	11.6%
2 : どちらかといえばそう思う	115	53.5%
3 : どちらかといえばそう思わない	67	31.2%
4 : そう思わない	8	3.7%
回答数合計	215	



区分	主な自由記述内容【記述数30 (14.0%) 1or2の記述12, 3or4の記述18】
評価事項	・日々の勉強の取組や心掛けにつながっているなどの記載 (12件)
課題事項	・求める生徒像が学習習慣を身に付けることに関連していないなどの記載 (11件) ・定員割れの学校が増えて日々の学習習慣への影響が薄れているなどの記載 (2件)

⑤【Q6】教員が各高校の特色を理解することに役立っている。

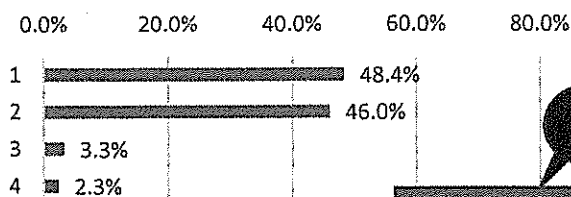
1 : そう思う	89	41.4%
2 : どちらかといえばそう思う	112	52.1%
3 : どちらかといえばそう思わない	9	4.2%
4 : そう思わない	5	2.3%
回答数合計	215	



区分	主な自由記述内容【記述数27 (12.6%) 1or2の記述22, 3or4の記述5】
評価事項	・詳しく説明されていて理解しやすいなどの記載 (12件) ・新しい情報が得られる, 面談で活用しているなどの記載 (2件)
課題事項	・情報量がそれほど多くないので役立っているとまでは言えないなどの記載 (3件) ・ホームページや他の媒体を参考にしていないなどの記載 (2件)

⑥【Q7】 教員が受験生に対して進路指導を行うことに役立っている。

1：そう思う	104	48.4%
2：どちらかといえばそう思う	99	46.0%
3：どちらかといえばそう思わない	7	3.3%
4：そう思わない	5	2.3%
回答数合計	215	



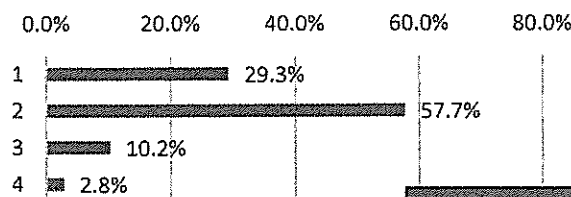
単

94 : 6

区分	主な自由記述内容【記述数24 (11.2%) 1or2の記述23, 3or4の記述1】
評価事項	・具体的に記載されているので伝えるべき事項について役に立っているなどの記載 (12件) ・面談で活用しているなどの記載 (7件)
課題事項	・各学校の内容が同じように書かれている (1件)

⑦【Q8】 受験生が各高校の特色を理解することに役立っている。

1：そう思う	63	29.3%
2：どちらかといえばそう思う	124	57.7%
3：どちらかといえばそう思わない	22	10.2%
4：そう思わない	6	2.8%
回答数合計	215	



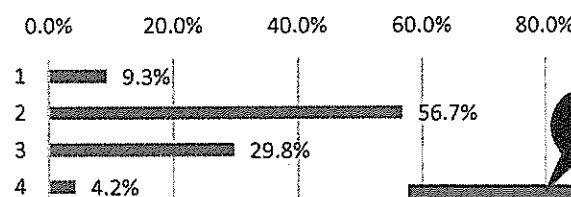
87 : 13

【比較】 高等学校Q6, 生徒Q6, 保護者Q6

区分	主な自由記述内容【記述数21 (9.8%) 1or2の記述18, 3or4の記述3】
評価事項	・進路選択のイメージができ、効果があったなどの記載 (12件)
課題事項	・表現が難しかったり、各学校の内容が同じように書かれているなどの記載 (4件) ・資料よりも学校説明会等に直接参加する方が理解しやすいなどの記載 (3件)

⑧【Q9】 生徒が志をもって中学校生活を充実させることに役立っている。

1：そう思う	20	9.3%
2：どちらかといえばそう思う	122	56.7%
3：どちらかといえばそう思わない	64	29.8%
4：そう思わない	9	4.2%
回答数合計	215	



単

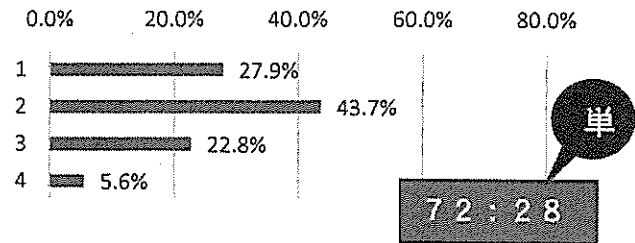
66 : 34

区分	主な自由記述内容【記述数25 (11.6%) 1or2の記述14, 3or4の記述11】
評価事項	・具体的な目標を持って日々を過ごしているなどの記載 (7件) ・生徒自身がすり替える視点として捉えられるなどの記載 (2件)
課題事項	・直接関連しているとは思えないなどの記載 (8件) ・中学校生活の充実にはもう少し早く複数の資料を提示する必要があるなどの記載 (2件)

(3) 中 (3) 新しい入試制度（現行入試制度）において、入試日程を一本化したことについて、次の①～⑦の質問にお答えください。

①【Q10】入試期間が短くなり、受験生として緊張が継続する負担が軽減している。

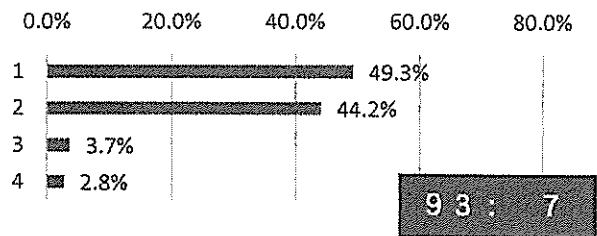
1：そう思う	60	27.9%
2：どちらかといえばそう思う	94	43.7%
3：どちらかといえばそう思わない	49	22.8%
4：そう思わない	12	5.6%
回答数合計	215	



区分	主な自由記述内容【記述数28 (13.0%) 1or2の記述9, 3or4の記述19】
評価事項	・軽減しているなどの記載 (4件)
課題事項	・私立高校入試を考えるとそれほど変化していないなどの記載 (11件) ・受験日が1日となったことに対する緊張感が強まったなどの記載 (6件)

②【Q11】第一次募集に追試験が導入され、受験に臨む上で、受験生や保護者の安心感につながっている。

1：そう思う	106	49.3%
2：どちらかといえばそう思う	95	44.2%
3：どちらかといえばそう思わない	8	3.7%
4：そう思わない	6	2.8%
回答数合計	215	

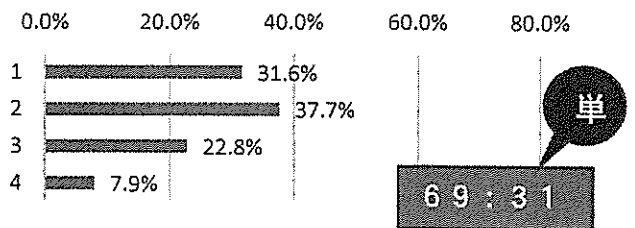


【比較】生徒Q9，保護者Q9

区分	主な自由記述内容【記述数31 (14.4%) 1or2の記述29, 3or4の記述2】
評価事項	・安心して受験に臨めたなどの記載 (27件)
課題事項	・追試験の内容についての不安を訴える生徒等がいる (1件) ・感染症等への不安感は払拭しきれない (1件)

③【Q12】合格した生徒と受験を控えた生徒が混在することによるクラス運営上の負担が軽減している。

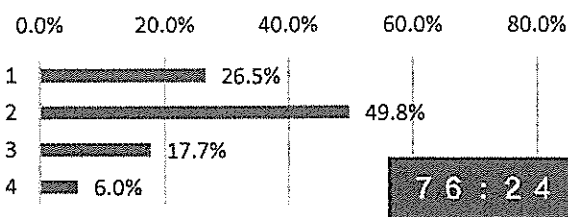
1：そう思う	68	31.6%
2：どちらかといえばそう思う	81	37.7%
3：どちらかといえばそう思わない	49	22.8%
4：そう思わない	17	7.9%
回答数合計	215	



区分	主な自由記述内容【記述数41 (19.1%) 1or2の記述17, 3or4の記述24】
評価事項	・旧入試制度のときには前期選抜不合格者への対応も含め負担が大きかったなどの記載 (8件) ・生徒との相談時間が多く確保できるようになったなどの記載 (2件)
課題事項	・私立高校入試があるのであまり変化はないなどの記載 (25件)

④【Q13】 教員が個々の生徒に対応するための時間を確保することにつながっている。

1：そう思う	57	26.5%
2：どちらかといえばそう思う	107	49.8%
3：どちらかといえばそう思わない	38	17.7%
4：そう思わない	13	6.0%
回答数合計	215	

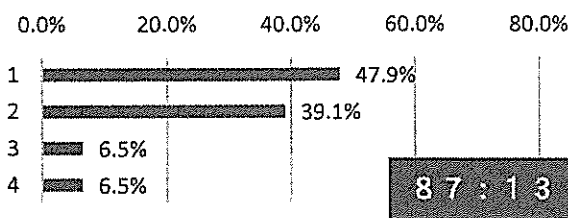


【比較】 高等学校 Q 7

区分	主な自由記述内容【記述数27 (12.6%) 1or2の記述18, 3or4の記述9】
評価事項	・面談等を定期的に繰り返し実施することができたなどの記載 (10件) ・入試事務の回数が減ったことは良かったなどの記載 (6件)
課題事項	・関連性は感じないなどの記載 (6件) ・私立高校のようにWeb出願に移行するとよい (1件)

⑤【Q14】 受験指導に費やす時間や出願手続き等の入試事務量の負担軽減につながっている。

1：そう思う	103	47.9%
2：どちらかといえばそう思う	84	39.1%
3：どちらかといえばそう思わない	14	6.5%
4：そう思わない	14	6.5%
回答数合計	215	

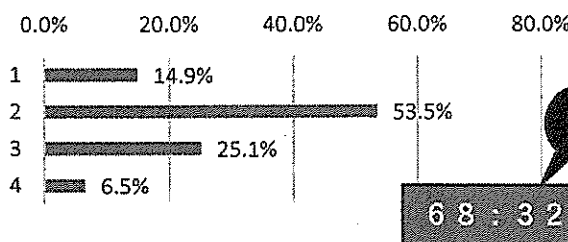


【比較】 高等学校 Q 9

区分	主な自由記述内容【記述数29 (13.5%) 1or2の記述20, 3or4の記述9】
評価事項	・出願手続が1回減ることで負担がかなり減少したなどの記載 (19件)
課題事項	・入試事務量の軽減をそれほど実感できないなどの記載 (6件) ・私立高校のようにWeb出願に移行するとよいなどの記載 (2件)

⑥【Q15】 入試期間が短くなり、中学校が教育活動を充実させることに役立っている。

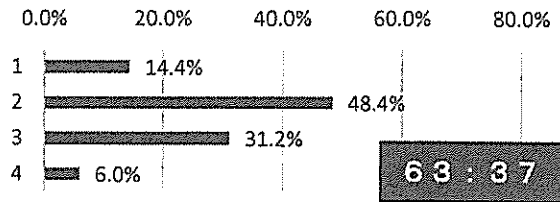
1：そう思う	32	14.9%
2：どちらかといえばそう思う	115	53.5%
3：どちらかといえばそう思わない	54	25.1%
4：そう思わない	14	6.5%
回答数合計	215	



区分	主な自由記述内容【記述数21 (9.8%) 1or2の記述8, 3or4の記述13】
評価事項	・授業実施時数を確保することができたなどの記載 (4件) ・本来の教育活動に費やせる時間が増えたなどの記載 (3件)
課題事項	・私立高校入試等があるので入試期間が短くなったとは感じられないなどの記載 (11件) ・教育活動が充実したとは感じていないなどの記載 (2件)

⑦【Q16】生徒が進路を決定する際に、共通選抜だけではなく、特色選抜の選抜方法も十分考慮して進路選択を行っている。

1 : そう思う	31	14.4%
2 : どちらかといえばそう思う	104	48.4%
3 : どちらかといえばそう思わない	67	31.2%
4 : そう思わない	13	6.0%
回答数合計	215	

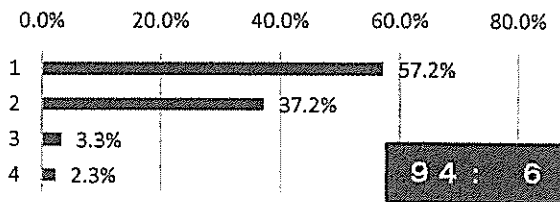


【比較】生徒Q12, 保護者Q12

区分	主な自由記述内容【記述数50 (23.3%) 1or2の記述17, 3or4の記述33】
評価事項	・自分の特性を十分に考えて進路選択することができたなどの記載 (10件)
課題事項	・共通選抜の割合が高い高校が多いためあまり考慮していないなどの記載 (16件) ・どちらの選抜で合格したかわからないので進路指導が難しいなどの記載 (16件) ・選抜方法ではなく学校自体で進路選択しているなどの記載 (2件)

(4) 中 (4) 【Q17】1月中旬に公表している出願希望調査は、受験生の進路選択に役に立っている。

1 : そう思う	123	57.2%
2 : どちらかといえばそう思う	80	37.2%
3 : どちらかといえばそう思わない	7	3.3%
4 : そう思わない	5	2.3%
回答数合計	215	



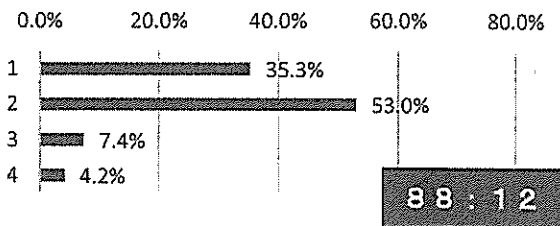
【比較】高等学校Q13, 生徒Q10, 保護者Q10

区分	主な自由記述内容【記述数25 (11.6%) 1or2の記述23, 3or4の記述2】
評価事項	・進路選択に大きく参考になっているなどの記載 (20件)
課題事項	・出願期間都の兼ね合いで12月下旬の公表であればもう少し考慮の余地がある (1件) ・倍率を見て出願先を変更したり安心したりする生徒がいるなどの記載 (2件)

(5) 中 (5) 新しい入試制度（現行入試制度）の日程について、次の①～③の質問にお答えください。

①【Q18】第一次募集の出願から第二次募集の実施までの入試に係る日数は、中学校が受験生に対応する上で適切である。

1 : そう思う	76	35.3%
2 : どちらかといえばそう思う	114	53.0%
3 : どちらかといえばそう思わない	16	7.4%
4 : そう思わない	9	4.2%
回答数合計	215	

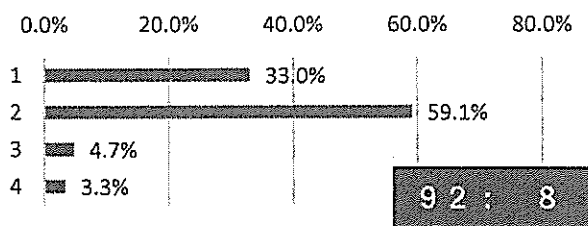


【比較】高等学校Q14, 生徒Q11, 保護者Q11

区分	主な自由記述内容【記述数19 (8.8%) 1or2の記述9, 3or4の記述10】
評価事項	・適切であるなどの記載 (7件)
課題事項	・緊張感を持った生活を送ることを考えると長いように感じるなどの記載 (2件) ・私立高校の合格発表から第一次募集の出願までの期間が少し短いなどの記載 (2件) ・第一次募集合格発表から第二次募集の出願までもう少し日数が欲しいなどの記載 (2件)

②【Q19】第一次募集の本試験から追試験までの日数は、中学校が受験生に対応する上で適切な期間を保障している。

1：そう思う	71	33.0%
2：どちらかといえばそう思う	127	59.1%
3：どちらかといえばそう思わない	10	4.7%
4：そう思わない	7	3.3%
回答数合計	215	

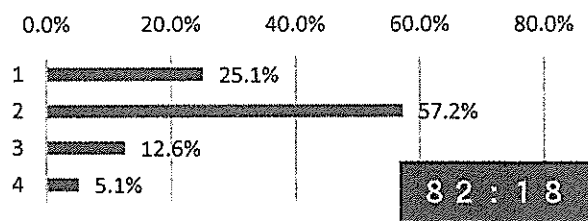


【比較】高等学校Q15

区分	主な自由記述内容【記述数16 (7.4%) 1or2の記述10, 3or4の記述6】
評価事項	・体調の回復の様子を確認しながら対応できる期間であるなどの記載 (9件)
課題事項	・新型コロナウイルス感染症の対応が日々変化するので何とも言えないなどの記載 (3件) ・中学校の卒業式に係る受験生への対応に苦慮する (1件)

③【Q20】第一次募集の合格発表から第二次募集までの日数は、中学校が受験生に対応する上で適切な期間を保障している。

1：そう思う	54	25.1%
2：どちらかといえばそう思う	123	57.2%
3：どちらかといえばそう思わない	27	12.6%
4：そう思わない	11	5.1%
回答数合計	215	



【比較】高等学校Q16

区分	主な自由記述内容【記述数27 (12.6%) 1or2の記述12, 3or4の記述15】
評価事項	・支障はないもしくは短いと感じるがやむを得ないなどの記載 (8件)
課題事項	・できればもう少し考える時間の保障が欲しいなどの記載 (15件) ・期間が長すぎるなどの記載 (2件)

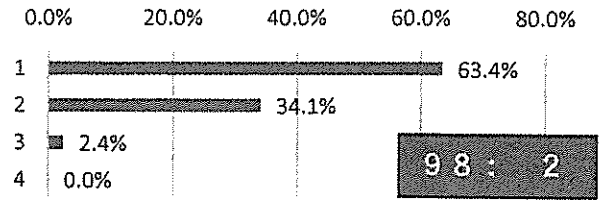


宮城県公立高校入学者選抜に係る質問紙調査詳細分析資料 【質問対象：高等学校】

(1) 高 (1) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑥の質問にお答えください。

①【Q1】受験生が、志望校選択や受験する上で、必要な内容を記載している。

1：そう思う	52	63.4%
2：どちらかといえばそう思う	28	34.1%
3：どちらかといえばそう思わない	2	2.4%
4：そう思わない	0	0.0%
回答数合計	82	

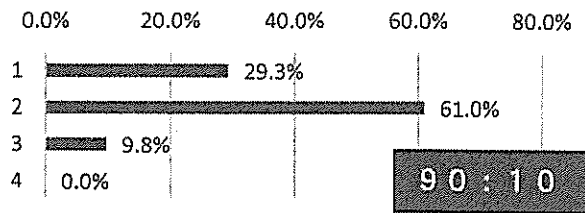


【比較】中学校Q2, 生徒Q4, 保護者Q4

区分	主な自由記述内容【記述数10 (12.2%) 1or2の記述10, 3or4の記述2】
評価事項	・具体的に書いてあるので受験生にとって有用であるなどの記載 (6件)
課題事項	・ある程度の情報は含まれているがすべてではないなどの記載 (2件) ・選抜方法が学力点と調査書点にしばられると必ずしも有効に働かない (1件)

②【Q2】受験生が目的意識を向上させることにつながっている。

1：そう思う	24	29.3%
2：どちらかといえばそう思う	50	61.0%
3：どちらかといえばそう思わない	8	9.8%
4：そう思わない	0	0.0%
回答数合計	82	

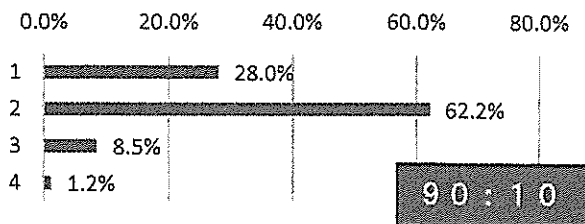


【比較】中学校Q3, 生徒Q7, 保護者Q7

区分	主な自由記述内容【記述数13 (15.9%) 1or2の記述9, 3or4の記述4】
評価事項	・具体的な内容が網羅されているなどの記載 (7件)
課題事項	・目的意識の向上とまでは言えないなどの記載 (2件) ・読み込んでいる入学生が少ない (1件)

③【Q3】受験生の意思や判断に基づいた主体的な進路選択につながっている。

1：そう思う	23	28.0%
2：どちらかといえばそう思う	51	62.2%
3：どちらかといえばそう思わない	7	8.5%
4：そう思わない	1	1.2%
回答数合計	82	

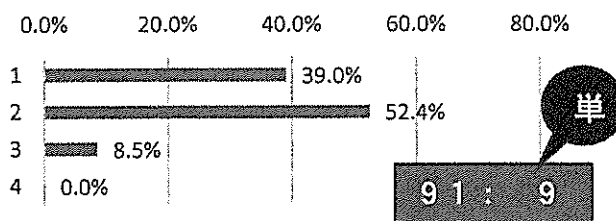


【比較】中学校Q4, 生徒Q8, 保護者Q8

区分	主な自由記述内容【記述数18 (22.0%) 1or2の記述13, 3or4の記述5】
評価事項	・自分で受験校を決める際の重要な情報になっているなどの記載 (3件)
課題事項	・参考資料の1つとなっているが、塾等の影響の方が大きいなどの記載 (9件) ・学力検査の点数によって入れる高校を選んでいる傾向が強い (2件)

④【Q4】各高校が進める特色ある学校づくりに役立っている。

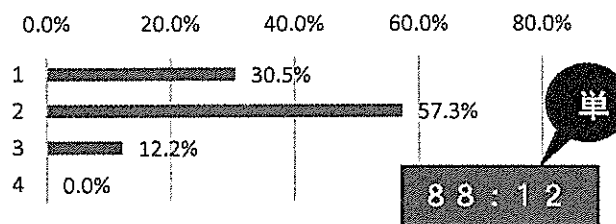
1：そう思う	32	39.0%
2：どちらかといえばそう思う	43	52.4%
3：どちらかといえばそう思わない	7	8.5%
4：そう思わない	0	0.0%
回答数合計	82	



区分	主な自由記述内容【記述数12 (14.6%) 1or2の記述9, 3or4の記述3】
評価事項	・各校が育成を目指す資質・能力とリンクしているなどの記載 (6件)
課題事項	・表現が似ていて他校との差を出すことが難しいなどの記載 (2件)

⑤【Q5】中学校の教員が、各高校の特色を理解することに役立っている。

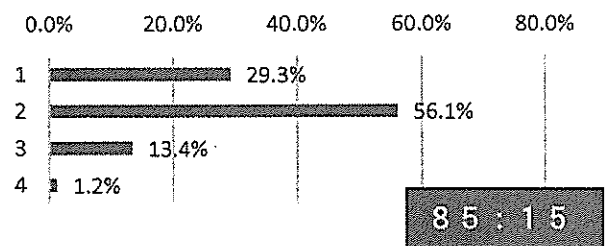
1：そう思う	25	30.5%
2：どちらかといえばそう思う	47	57.3%
3：どちらかといえばそう思わない	10	12.2%
4：そう思わない	0	0.0%
回答数合計	82	



区分	主な自由記述内容【記述数16 (19.5%) 1or2の記述7, 3or4の記述9】
評価事項	・理解に役立っていると思われるなどの記載 (6件)
課題事項	・理解する上での一助にはなっているが、十分ではないなどの記載 (6件) ・専門学科に関する興味・理解を深めることは難しいなどの記載 (2件)

⑥【Q6】受験生が各高校の特色を理解することに役立っている。

1：そう思う	24	29.3%
2：どちらかといえばそう思う	46	56.1%
3：どちらかといえばそう思わない	11	13.4%
4：そう思わない	1	1.2%
回答数合計	82	



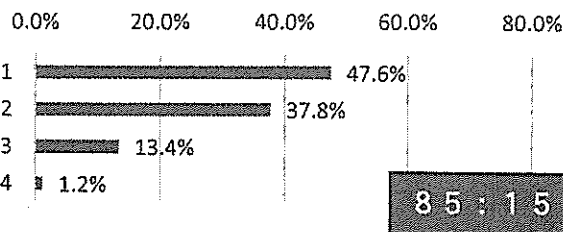
【比較】中学校Q8, 生徒Q6, 保護者Q6

区分	主な自由記述内容【記述数17 (20.7%) 1or2の記述8, 3or4の記述9】
評価事項	・各校の興味を持つきっかけとなっているなどの記載 (2件)
課題事項	・表現が似ていて受験生に他校との差をわかりやすくすることが難しいなどの記載 (6件) ・塾や保護者の意向 (学力検査の点数も含む) で志望校を決定しているなどの記載 (3件)

(2) 高 (2) 新しい入試制度 (現行入試制度) において、入試日程を一本化し、共通選抜と特色選抜を設定したことについて、次の①～⑥の質問にお答えください。

①【Q7】入試期間が短くなり、在校生徒に対応する時間の確保につながっている。

1 : そう思う	39	47.6%
2 : どちらかといえばそう思う	31	37.8%
3 : どちらかといえばそう思わない	11	13.4%
4 : そう思わない	1	1.2%
回答数合計	82	

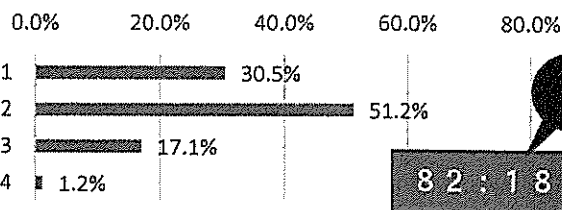


【比較】中学校Q13

区分	主な自由記述内容【記述数20 (24.4%) 1or2の記述12, 3or4の記述8】
評価事項	・入試業務の負担軽減により在校生徒に対する支援が行えるようになったなどの記載 (9件)
課題事項	・入試期間は短くなったが3月は負担が増加し生徒への時間がとれなかったなどの記載 (7件) ・3月は追試験の導入さらに新型コロナ対応等で確保できなかったなどの記載 (2件)

②【Q8】入試期間が短くなり、高校の教育活動を充実させることに役立っている。

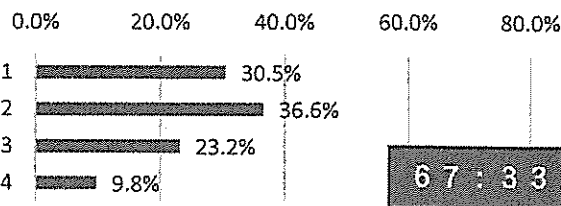
1 : そう思う	25	30.5%
2 : どちらかといえばそう思う	42	51.2%
3 : どちらかといえばそう思わない	14	17.1%
4 : そう思わない	1	1.2%
回答数合計	82	



区分	主な自由記述内容【記述数19 (23.2%) 1or2の記述11, 3or4の記述8】
評価事項	・以前より時間を確保できるようになったなどの記載 (7件)
課題事項	・入試期間は短くなったが教育活動の充実できるまでとは言えないなどの記載 (8件) ・3月は入試シフトになってしまい本来の教育活動に影響があるなどの記載 (3件)

③【Q9】高校における入試業務の負担が軽減している。

1 : そう思う	25	30.5%
2 : どちらかといえばそう思う	30	36.6%
3 : どちらかといえばそう思わない	19	23.2%
4 : そう思わない	8	9.8%
回答数合計	82	

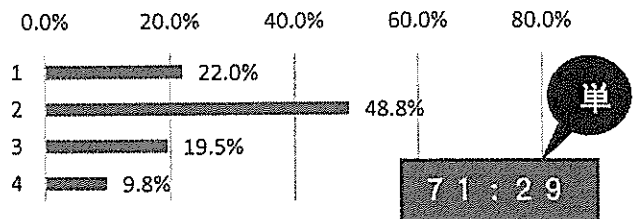


【比較】中学校Q14

区分	主な自由記述内容【記述数36 (43.9%) 1or2の記述15, 3or4の記述21】
評価事項	・(受験実施数の減少や学校独自問題廃止等) 入試に係る業務は減ったなどの記載 (6件)
課題事項	・入試回数は減少したが、業務量としては増加したところも感じられるなどの記載 (13件) ・負担軽減していると思うが実感を伴うほどではないなどの記載 (5件) ・この2年間は新型コロナ対応で負担感が増しているなどの記載 (6件) ・採点業務や追試験など3月に業務が集中していて負担感を感じるなどの記載 (2件)

④【Q10】入試日程を一本化しても、複数の選抜機会が維持されている。

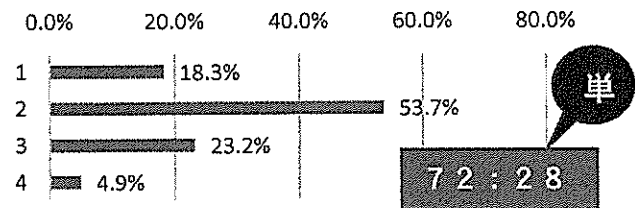
1：そう思う	18	22.0%
2：どちらかといえばそう思う	40	48.8%
3：どちらかといえばそう思わない	16	19.5%
4：そう思わない	8	9.8%
回答数合計	82	



区分	主な自由記述内容【記述数20 (24.4%) 1or2の記述6, 3or4の記述14】
評価事項	・異なる選抜方法が組み合わさっているなどの記載 (5件)
課題事項	・受験機会を減らしたことで選抜機会が複数あっても維持されたとは言い難いとの記載 (6件) ・受験回数が減少したことで私立に人材が流出しているなどの記載 (4件) ・定員割れで複数の選抜を実施できないため維持されてるとは言い難いなどの記載 (2件)

⑤【Q11】学校の特色に沿った資質・能力を多面的に評価することにつながっている。

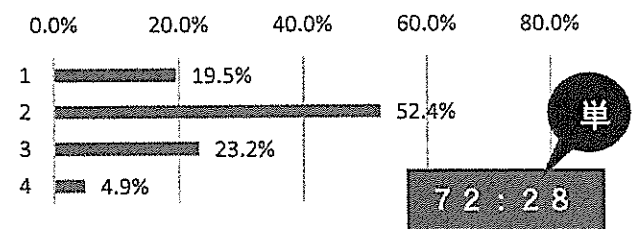
1：そう思う	15	18.3%
2：どちらかといえばそう思う	44	53.7%
3：どちらかといえばそう思わない	19	23.2%
4：そう思わない	4	4.9%
回答数合計	82	



区分	主な自由記述内容【記述数22 (26.8%) 1or2の記述6, 3or4の記述16】
評価事項	・2つの異なる基準で見ているので多面性はあるなどの記載 (4件)
課題事項	・調査書と学力検査だけで多面的に評価とは言い難いなどの記載 (7件) ・定員割れで多面的に評価する機会がないなどの記載 (4件)

⑥【Q12】求める生徒像に沿った資質・能力を多面的に評価することにつながっている。

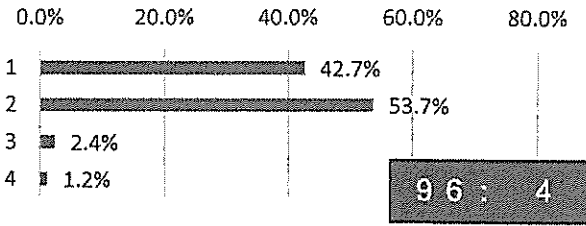
1：そう思う	16	19.5%
2：どちらかといえばそう思う	43	52.4%
3：どちらかといえばそう思わない	19	23.2%
4：そう思わない	4	4.9%
回答数合計	82	



区分	主な自由記述内容【記述数26 (31.7%) 1or2の記述9, 3or4の記述17】
評価事項	・特色選抜について多面的な評価をするという点で効果ありなどの記載 (5件)
課題事項	・定員割れのため多面的に評価する機会がないなどの記載 (6件) ・学校外での活動が評価しにくいなどの記載 (4件)

(3) 高 (3) 【Q13】 1月中旬に公表している出願希望調査は、受験生の進路選択に役立っている。

1 : そう思う	35	42.7%
2 : どちらかといえばそう思う	44	53.7%
3 : どちらかといえばそう思わない	2	2.4%
4 : そう思わない	1	1.2%
回答数合計	82	



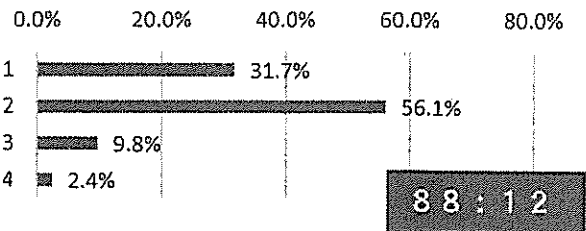
【比較】 中学校 Q17, 生徒 Q10, 保護者 Q10

区分	主な自由記述内容【記述数13 (15.9%) 1or2の記述10, 3or4の記述3】
評価事項	・進路選択に役立っているなどの記載 (6件)
課題事項	・調査結果に左右されていることから是非は何ともいえないなどの記載 (2件) ・「人気投票」的な意味合いが強いのではないかなど (1件)

(4) 高 (4) 新しい入試制度 (現行入試制度) の日程について、次の①～③の質問にお答えください。

① 【Q14】 第一次募集の出願から第二次募集の実施までの入試に係る日数は、高校が入試を実施する上で適切である。

1 : そう思う	26	31.7%
2 : どちらかといえばそう思う	46	56.1%
3 : どちらかといえばそう思わない	8	9.8%
4 : そう思わない	2	2.4%
回答数合計	82	

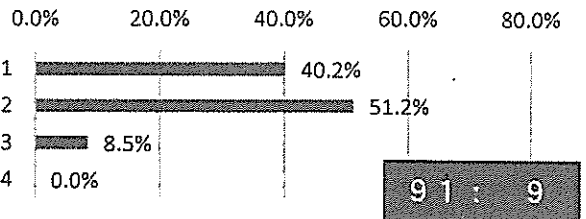


【比較】 中学校 Q18, 生徒 Q11, 保護者 Q11

区分	主な自由記述内容【記述数13 (15.9%) 1or2の記述6, 3or4の記述7】
評価事項	・適切であるなどの記載 (3件)
課題事項	・全体的に忙しい日程であるなどの記載 (6件) ・第一次募集をもう1週早めることが望ましいなどの記載 (2件)

② 【Q15】 第一次募集の本試験から追試験までの日数は、高校が入試を実施する上で適切な期間を保障している。

1 : そう思う	33	40.2%
2 : どちらかといえばそう思う	42	51.2%
3 : どちらかといえばそう思わない	7	8.5%
4 : そう思わない	0	0.0%
回答数合計	82	

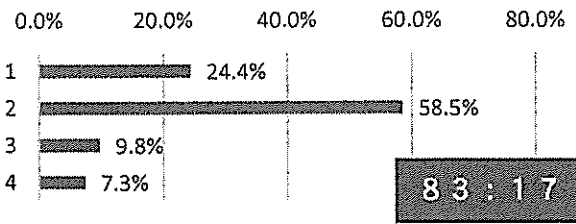


【比較】 中学校 Q19

区分	主な自由記述内容【記述数11 (13.4%) 1or2の記述5, 3or4の記述6】
評価事項	・大きな問題がなかったなどの記載 (4件)
課題事項	・コロナ対応を考えると期間としては短いのではないかなど (4件)

③【Q16】第一次募集の合格発表から第二次募集までの日数は、高校が入試を実施する上で適切な期間を保障している。

1：そう思う	20	24.4%
2：どちらかといえばそう思う	48	58.5%
3：どちらかといえばそう思わない	8	9.8%
4：そう思わない	6	7.3%
回答数合計	82	



【比較】中学校Q20

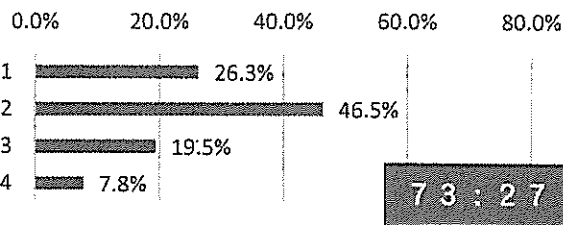
区分	主な自由記述内容【記述数18 (22.0%) 1or2の記述7, 3or4の記述11】
評価事項	・やむを得ないと思われるなどの記載 (5件)
課題事項	・仕方ないことではあるが日程が非常にタイトであるなどの記載 (8件) ・第二次募集の出願締切を午後3時から午前11時にして欲しいなどの記載 (2件)

宮城県公立高校入学者選抜に係る質問紙調査詳細分析資料 【質問対象：生徒】

(1) 生 (1) 高校入試 (学力検査) について、次の①～③の質問にお答えください。

①【Q1】自分の将来を考える機会になった。

1 : そう思う	792	26.3%
2 : どちらかといえばそう思う	1399	46.5%
3 : どちらかといえばそう思わない	586	19.5%
4 : そう思わない	234	7.8%
回答数合計	3011	

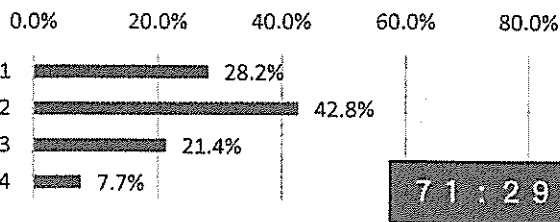


【比較】保護者Q1

区分	主な自由記述内容【記述数525 (17.4%) 1or2の記述379, 3or4の記述146】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が志望する進路 (高校, 専門学校, 大学等) を考えているから (多数)</li> <li>・学問の分野や具体的な職業について考えることができた (多数)</li> <li>・進路相談やオープンキャンパスに参加することで深く考えることができた</li> <li>・自分の現在の实力を知ることができた</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来についてあまり関心がない (多数)</li> <li>・特に考えたことがない (多数)</li> <li>・それほど入学する高校にこだわりがない</li> <li>・ただ勉強するだけだった</li> <li>・周囲にあわせて何となく受験した</li> <li>・将来をすでに決めていた</li> <li>・将来について何も決めていないので影響がない</li> </ul>

②【Q2】中学校生活において、日頃の学習意欲を高めることに役立った。

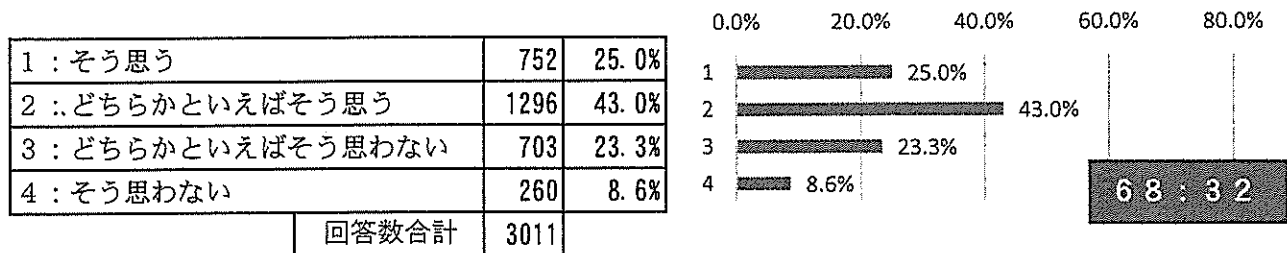
1 : そう思う	848	28.2%
2 : どちらかといえばそう思う	1288	42.8%
3 : どちらかといえばそう思わない	644	21.4%
4 : そう思わない	231	7.7%
回答数合計	3011	



【比較】中学校Q1, 保護者Q2

区分	主な自由記述内容【記述数423 (14.0%) 1or2の記述308, 3or4の記述115】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日勉強するようになった (多数)</li> <li>・希望する高校に入るためのモチベーションになった (多数)</li> <li>・調査書の重要度を理解し学校の定期考査への姿勢がより真剣なものとなった</li> <li>・受験回数が1回に減少したことにより意欲が湧いた</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塾に行くようになった (多数)</li> <li>・入れる高校を選択した (多数)</li> <li>・勉強は高校入試のためにする訳ではないから別に変わらない</li> <li>・3年生になるまで入試制度がよくわからない</li> <li>・危機感があまりなく勉強する機会にならなかった</li> <li>・受験機会が1回に減少したことにより焦りが出た</li> </ul>

③【Q3】中学校生活において、学習習慣を身に付けることに役立った。

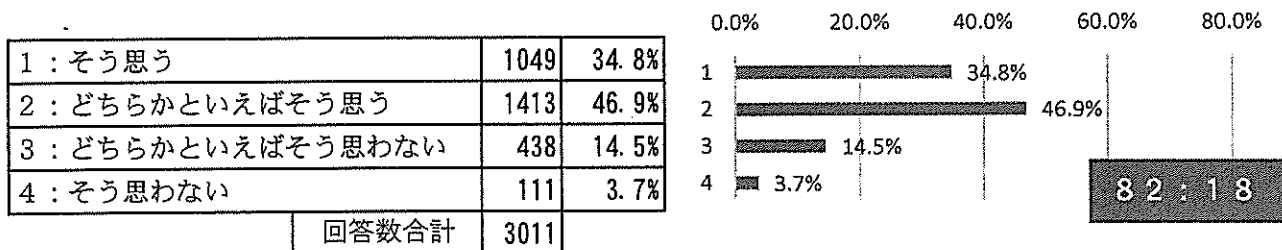


【比較】保護者Q3

区分	主な自由記述内容【記述数328 (10.8%) 1or2の記述200, 3or4の記述128】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家に帰ってから勉強する習慣がついた (多数)</li> <li>・計画的に勉強するようになった (多数)</li> <li>・自分の苦手なところを理解することができた (多数)</li> <li>・勉強する時間が増加した (多数)</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塾に通い始めたことで学習習慣が身についた (多数)</li> <li>・焦りや危機感から勉強するようになった (多数)</li> <li>→ しかし、高校に入ったらやらなくなった</li> <li>・勉強しなかった (多数)</li> <li>・やる気力がなかった (多数)</li> <li>・学習習慣と入試制度は関係ない</li> </ul>

(2) 生 (2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑤の質問にお答えください。

①【Q4】受験生が、志望校選択や受験する上で、必要な内容が記載されていた。



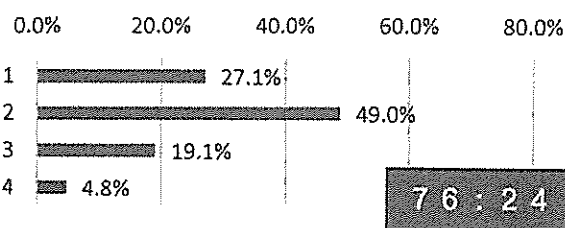
【比較】中学校Q2, 高等学校Q1, 保護者Q4

区分	主な自由記述内容【記述数194 (6.5%) 1or2の記述148, 3or4の記述46】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求められる人材がわかった (多数)</li> <li>・知りたい内容が記載されている (多数)</li> <li>・わかりやすく書いてあった</li> <li>・書いてある内容をイメージできた</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットやホームページの方を活用した (多数)</li> <li>・あまり見ていない (多数)</li> <li>・もう少し中学生にもわかりやすい表現にして欲しい</li> <li>・もっと具体的なところまで掲載するべき</li> <li>・どこが重要なかわからない</li> </ul>



②【Q5】受験生にとって、内容がわかりやすく記載されていた。

1：そう思う	815	27.1%
2：どちらかといえばそう思う	1474	49.0%
3：どちらかといえばそう思わない	576	19.1%
4：そう思わない	146	4.8%
回答数合計	3011	

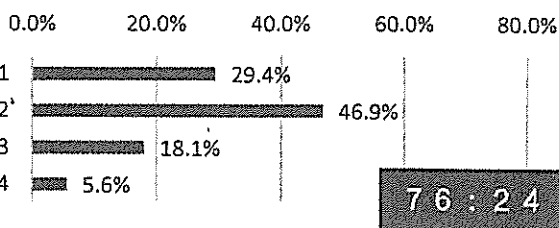


【比較】保護者Q5

区分	主な自由記述内容【記述数189 (6.3%) 1or2の記述113, 3or4の記述76】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく掲載されている (多数)</li> <li>・具体的な内容が記載されていた (多数)</li> <li>・困ることは少なかった</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく見ていない (多数)</li> <li>・堅苦しい言葉 (抽象的な言葉, 難しい言葉) が多かった (多数)</li> <li>・受験生目線で記載されていなかった</li> <li>・特色選抜がわかりにくかった</li> </ul>

③【Q6】受験生が各高校の特色の理解することに役立った。

1：そう思う	886	29.4%
2：どちらかといえばそう思う	1411	46.9%
3：どちらかといえばそう思わない	544	18.1%
4：そう思わない	170	5.6%
回答数合計	3011	

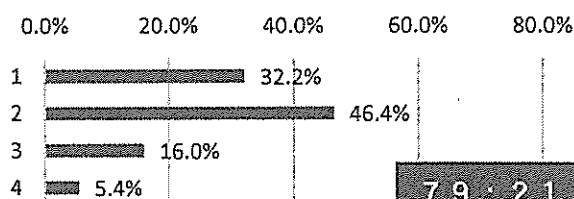


【比較】中学校Q8, 高等学校Q6, 保護者Q6

区分	主な自由記述内容【記述数167 (5.5%) 1or2の記述103, 3or4の記述64】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の特色を深く理解できた (多数)</li> <li>・しっかりと書かれていたので他の学校と比較することができた (多数)</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳しいことはパンフレットやオープンスクールで確認した (多数)</li> <li>・他の高校との違いをあまり感じなかった</li> <li>・実際に学校を見ないと良さが伝わらない</li> <li>・「求める生徒像」だけでは学校を理解することは難しい</li> </ul>

④【Q7】受験生が進路に対する意識を高めることに役立った。

1：そう思う	969	32.2%
2：どちらかといえばそう思う	1396	46.4%
3：どちらかといえばそう思わない	482	16.0%
4：そう思わない	164	5.4%
回答数合計	3011	

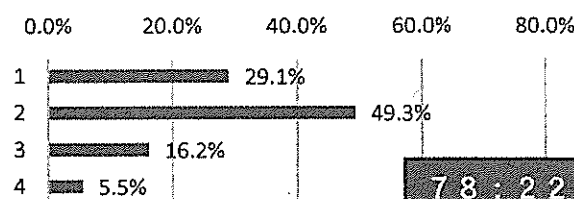


【比較】中学校Q3，高等学校Q2，保護者Q7

区分	主な自由記述内容【記述数138(4.6%) 1or2の記述99, 3or4の記述39】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考える機会になった(多数)</li> <li>・志望する学校がどんな感じなのか把握するために役立った</li> <li>・「求める生徒像」をイメージしやすかった</li> <li>・真剣に考えることができた</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり意識して見ていない(多数)</li> <li>・意欲に変化がなかった</li> </ul>

⑤【Q8】自分の意思や判断に基づいた主体的な進路選択に役立った。

1：そう思う	876	29.1%
2：どちらかといえばそう思う	1483	49.3%
3：どちらかといえばそう思わない	487	16.2%
4：そう思わない	165	5.5%
回答数合計	3011	

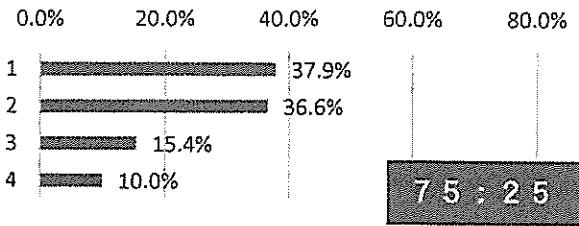


【比較】中学校Q4，高等学校Q3，保護者Q8

区分	主な自由記述内容【記述数95(3.2%) 1or2の記述59, 3or4の記述36】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から入りたいと思った(多数)</li> <li>・自分の意思や意見を尊重して決めることができた(多数)</li> <li>・進路に関する目標を立てることができた</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見ていない(多数)</li> <li>・学力だけで選んでいるのであまり関係ない</li> </ul>

(3) 生 (3) 【Q9】 第一次募集に追試験を導入したことは、受験に臨む上での安心感につながった。

1 : そう思う	1142	37.9%
2 : どちらかといえばそう思う	1103	36.6%
3 : どちらかといえばそう思わない	465	15.4%
4 : そう思わない	301	10.0%
回答数合計	3011	

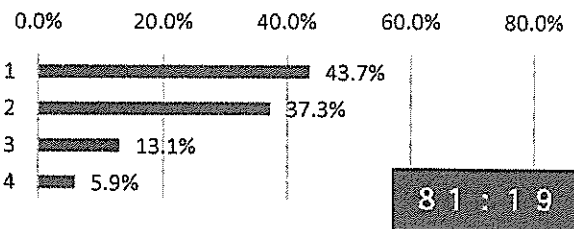


【比較】 中学校Q11, 保護者Q9

区分	主な自由記述内容【記述数204 (6.8%) 1or2の記述123, 3or4の記述81】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験を受けることができなかった時に追試験があると安心できる (多数)</li> <li>・平等な受験機会が与えられてよい</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追試験を受験していないからあまりよくわからなかった (多数)</li> <li>・安心感はあるが、本試験と異なる試験を解くことに少し不安があった</li> </ul>

(4) 生 (4) 【Q10】 1月中旬に公表している出願希望調査は進路選択に役立った。

1 : そう思う	1315	43.7%
2 : どちらかといえばそう思う	1124	37.3%
3 : どちらかといえばそう思わない	394	13.1%
4 : そう思わない	178	5.9%
回答数合計	3011	

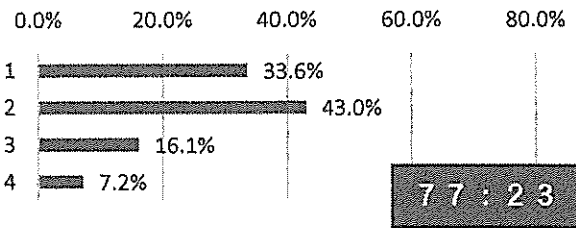


【比較】 中学校Q17, 高等学校Q13, 保護者Q10

区分	主な自由記述内容【記述数182 (6.0%) 1or2の記述126, 3or4の記述56】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度学校の倍率を知ることができてよかった (多数)</li> <li>・ライバルの状況を知ることができた (多数)</li> <li>・学習への意欲が湧いた</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり考慮しなかった (多数)</li> <li>・不安が募った</li> <li>・倍率の低いところを選んだ</li> </ul>

(5) 生 (5) 【Q11】 第一次募集の出願から本試験を経て合格発表までの入試に係る日数は、受験生にとって適切であった。

1 : そう思う	1012	33.6%
2 : どちらかといえばそう思う	1296	43.0%
3 : どちらかといえばそう思わない	486	16.1%
4 : そう思わない	217	7.2%
回答数合計	3011	

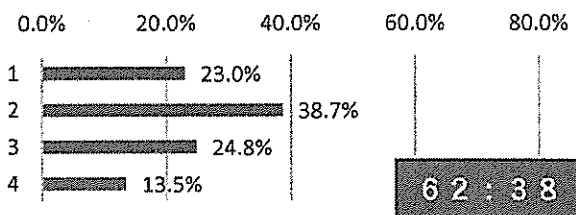


【比較】 中学校 Q18, 高等学校 Q14, 保護者 Q11

区分	主な自由記述内容【記述数215 (7.1%) 1or2の記述93, 3or4の記述122】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長くも短くもなくちょうど良かった</li> <li>・卒業式を終えてからの合格発表なのでよかった</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し短くてもよかった (多数)</li> <li>・不安な時期が続くので合格発表をもう少し早くして欲しい (多数)</li> </ul>

(6) 生 (6) 【Q12】 進路を決定する際に、共通選抜だけではなく、特色選抜の選抜方法も十分考慮して進路選択を行った。

1 : そう思う	692	23.0%
2 : どちらかといえばそう思う	1165	38.7%
3 : どちらかといえばそう思わない	747	24.8%
4 : そう思わない	407	13.5%
回答数合計	3011	



【比較】 中学校 Q16, 保護者 Q12

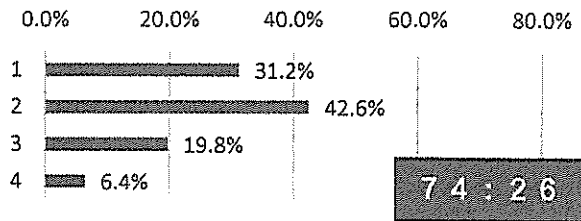
区分	主な自由記述内容【記述数125 (4.2%) 1or2の記述47, 3or4の記述78】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両方の選抜を意識しながら受験することができた</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり気にしていなかった (多数)</li> <li>・どのように選抜しているかわからない</li> <li>・点数を取ることで考えていた</li> <li>・選抜人数の多い共通選抜のみで考えていた</li> </ul>

宮城県公立高校入学者選抜に係る質問紙調査詳細分析資料 【質問対象：保護者】

(1) 保 (1) 高校入試 (学力検査) について、次の①～③の質問にお答えください。

①【Q1】受験生が将来について考える機会になった。

1：そう思う	654	31.2%
2：どちらかといえばそう思う	892	42.6%
3：どちらかといえばそう思わない	414	19.8%
4：そう思わない	135	6.4%
回答数合計	2095	



【比較】生徒Q1

区分	主な自由記述内容【記述数565 (27.0%) 1or2の記述381, 3or4の記述184】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来 (高校, 大学, 就職, 専門学校, 職業等) を見据えて学校選びをしていた (多数)</li> <li>・将来について家族内で話す機会が増えた (多数)</li> <li>・将来に向き合うきっかけとなった</li> <li>・自分の得意, 不得意なことを理解することができた</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標が決まっていない (多数)</li> <li>・なんとなくかなると思っているまたは何となく選んだ (多数)</li> <li>・将来を考えるにあたり受験方法はあまり関係ない</li> <li>・将来を見据えているのではなく, 家が近いや友人がいるなどの要素で選択している</li> <li>・学力に見合った学校を選んだだけである</li> </ul>

②【Q2】中学校生活において、受験生が日頃の学習意欲を高めることに役立った。

1：そう思う	603	28.8%
2：どちらかといえばそう思う	889	42.4%
3：どちらかといえばそう思わない	454	21.7%
4：そう思わない	149	7.1%
回答数合計	2095	

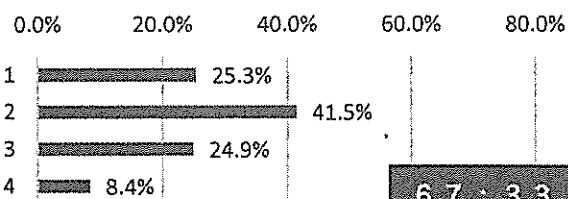


【比較】中学校Q1, 生徒Q2

区分	主な自由記述内容【記述数391 (18.7%) 1or2の記述227, 3or4の記述164】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日コツコツ勉強するようになった (多数)</li> <li>・やらなければならないという気持ちになった (多数)</li> <li>・目標に向けて自主的に学習するようになった</li> <li>・1年生の頃から意識して積極的に活動していた</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よくわからない (多数)</li> <li>・あまり変わらなかった (多数)</li> <li>・入試制度変更による影響は特にない</li> <li>・受験のための勉強なのであまり意味がない</li> <li>・3年生になって焦っていた</li> <li>・本人の受験に対する意欲が低かった</li> </ul>

③【Q3】中学校生活において、受験生が学習習慣を身に付けることに役立った。

1：そう思う	530	25.3%
2：どちらかといえばそう思う	869	41.5%
3：どちらかといえばそう思わない	521	24.9%
4：そう思わない	175	8.4%
回答数合計	2095	



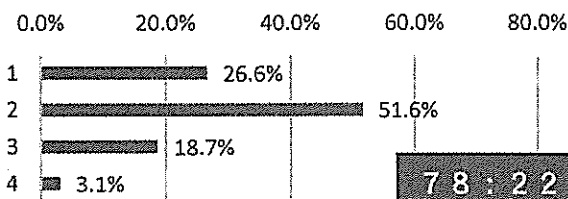
【比較】生徒Q3

区分	主な自由記述内容【記述数314（15.0%） 1or2の記述156, 3or4の記述158】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習が習慣化した（多数）</li> <li>・計画的に学習するようになった（多数）</li> <li>・目標が定まり、努力するようになった</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塾に通い頑張っていた（多数）</li> <li>・よくわからない（多数）</li> <li>・変化がなかった（多数）</li> <li>・学習習慣が身につかなかった（多数）</li> <li>・学習習慣と入試制度の変更に関係はない</li> </ul>

(2) 保(2)各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑤の質問にお答えください。

①【Q4】受験生が、志望校選択や受験する上で、必要な内容が記載されていた。

1：そう思う	557	26.6%
2：どちらかといえばそう思う	1081	51.6%
3：どちらかといえばそう思わない	392	18.7%
4：そう思わない	65	3.1%
回答数合計	2095	

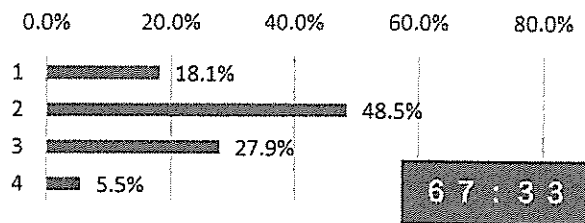


【比較】中学校Q2, 高等学校Q1, 生徒Q4

区分	主な自由記述内容【記述数223（10.6%） 1or2の記述125, 3or4の記述98】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく書いてあるのでイメージが付きやすかった（多数）</li> <li>・見てわかるようになっている（多数）</li> <li>・求める生徒像を意識して中学生生活を充実させるように取り組んだ</li> <li>・自分にあった学校が選択できる</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よくわからなかった（多数）</li> <li>・もう少し幅広く書いてあるとより良い（多数）</li> <li>・各校さほど違いがなく一般的に思われ選択の材料にならなかった</li> <li>・理念が崇高すぎて今の子どもには萎縮してしまうところがある</li> <li>・アナウンスが今ひとつであった</li> </ul>

② 【Q5】 受験生にとって、内容がわかりやすく記載されていた。

1 : そう思う	380	18.1%
2 : どちらかといえばそう思う	1016	48.5%
3 : どちらかといえばそう思わない	584	27.9%
4 : そう思わない	115	5.5%
回答数合計	2095	

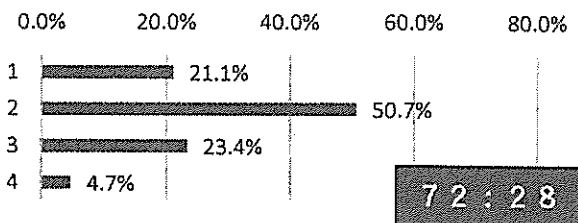


【比較】 生徒 Q 5

区分	主な自由記述内容【記述数183 (8.7%) 1or2の記述67, 3or4の記述116】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすかった (多数)</li> <li>・目標が設定しやすい</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し噛み砕いた内容にして欲しいと感じた (多数)</li> <li>・普通科は各学校で違いがあまりないように思う (多数)</li> <li>・あまり見ていない</li> <li>・求める生徒像をあまり気にしていない</li> <li>・説明されないと理解できていないところがあった</li> </ul>

③ 【Q6】 受験生が各高校の特色を理解することに役立った。

1 : そう思う	443	21.1%
2 : どちらかといえばそう思う	1063	50.7%
3 : どちらかといえばそう思わない	490	23.4%
4 : そう思わない	99	4.7%
回答数合計	2095	

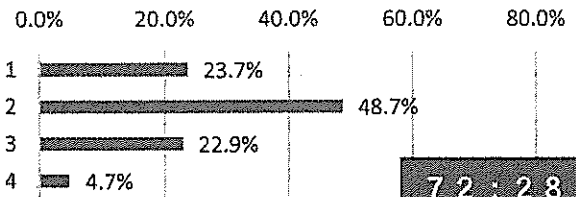


【比較】 中学校 Q 8, 高等学校 Q 6, 生徒 Q 6

区分	主な自由記述内容【記述数137 (6.5%) 1or2の記述61, 3or4の記述76】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役に立った (多数)</li> <li>・比べられる資料があるのはありがたい</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり見ていなかった (多数)</li> <li>・学校のホームページやオープンキャンパスに参加する方がわかりやすかった</li> <li>・もう少しわかりやすく記載されたほうがよい</li> <li>・どの高校も同じような内容に感じあまり各高校の特色がわからなかった</li> <li>・具体的な特色内容が記載されてなく曖昧な気がした</li> </ul>

④【Q7】受験生が進路に対する意識を高めることに役立った。

1：そう思う	496	23.7%
2：どちらかといえばそう思う	1020	48.7%
3：どちらかといえばそう思わない	480	22.9%
4：そう思わない	99	4.7%
回答数合計	2095	

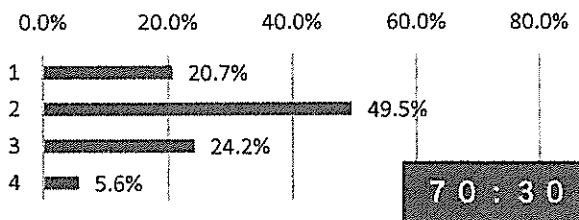


【比較】中学校Q3，高等学校Q2，生徒Q7

区分	主な自由記述内容【記述数122 (5.8%) 1or2の記述67, 3or4の記述55】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な進路情報を知ることで意識が高まった</li> <li>・努力目標が明確になった</li> <li>・将来について考える機会になった</li> <li>・役立った受験生が多かったと思う</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に役に立った訳ではない</li> <li>・そこまでの情報はなかったと思う</li> <li>・求める生徒像に自分が合っているかではなく入りたい学校を選択していた</li> <li>・子どもがあまり深く考えていない又はあまり関係していない</li> </ul>

⑤【Q8】受験生の意思や判断に基づいた主体的な進路選択に役立った。

1：そう思う	433	20.7%
2：どちらかといえばそう思う	1038	49.5%
3：どちらかといえばそう思わない	507	24.2%
4：そう思わない	117	5.6%
回答数合計	2095	



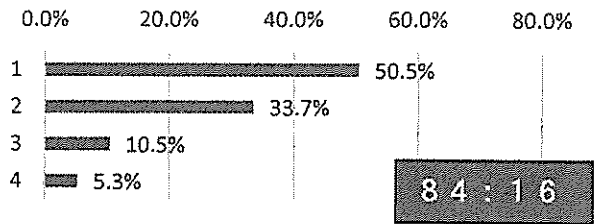
【比較】中学校Q4，高等学校Q3，生徒Q8

区分	主な自由記述内容【記述数116 (5.5%) 1or2の記述57, 3or4の記述59】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意な分野を自分で理解して選択することができた (多数)</li> <li>・高校の特色を感じ取り本人の受験したい気持ちが高まっていた</li> <li>・自分で考える材料はなっている</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に役に立った訳ではない</li> <li>・実際に役立ったのはオープンスクールであった</li> <li>・そもそも選択肢が少ないので主体的な進路選択とは言えない</li> <li>・大人達の意見が尊重された</li> <li>・結局判断は、模試等の結果と通学可能範囲で決めた</li> </ul>



(3) 保 (3) 【Q9】 第一次募集に追試験を導入したことは、受験生や保護者に対して、受験に臨む上での安心感につながった。

1 : そう思う	1058	50.5%
2 : どちらかといえばそう思う	705	33.7%
3 : どちらかといえばそう思わない	220	10.5%
4 : そう思わない	112	5.3%
回答数合計	2095	

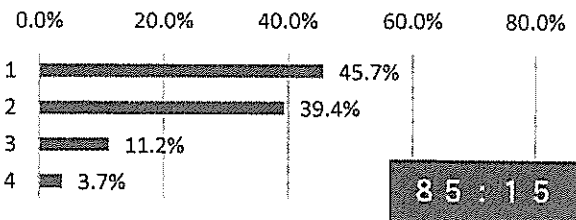


【比較】 中学校Q11, 生徒Q9

区分	主な自由記述内容【記述数258 (12.3%) 1or2の記述211, 3or4の記述47】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でもあり安心できた (多数)</li> <li>・万が一の事態に対応できるから</li> <li>・このシステムには本当に安心した</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追試験があることがわからなかった</li> <li>・追試験になった場合にテストの難易度が上がることも考えられた</li> <li>・公立高校が不合格だった場合は私立高校に進学するつもりだった</li> </ul>

(4) 保 (4) 【Q10】 1月中旬に公表している出願希望調査は、受験生の進路選択に役立った。

1 : そう思う	957	45.7%
2 : どちらかといえばそう思う	825	39.4%
3 : どちらかといえばそう思わない	235	11.2%
4 : そう思わない	78	3.7%
回答数合計	2095	

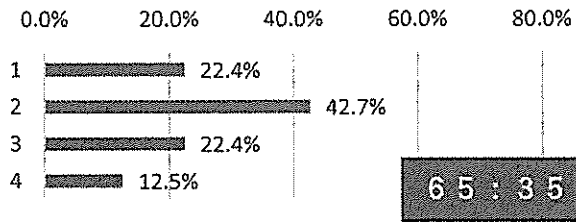


【比較】 中学校Q17, 高等学校Q13, 生徒Q10

区分	主な自由記述内容【記述数233 (11.1%) 1or2の記述168, 3or4の記述65】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この時点で倍率がわかるのはいいことである (多数)</li> <li>・出願の最終的な判断は出願希望調査の結果で判断した (多数)</li> <li>・出願希望調査を見ることにより受験に向けてのモチベーションを上げるきっかけになった</li> <li>・自分の意思を再確認する機会になった</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し時期が早くてもよい</li> <li>・公表が中学校での出願締切日が近いために役に立たなかった</li> <li>・まだ将来への迷いがある学生が多い中で焦りで判断する受験生もいた</li> <li>・これが無くなると不合格者が多くなりそう</li> <li>・実際の受験への迷いは増えた</li> <li>・私立高校に変更する受験生も増えた</li> </ul>

(5) 保 (5) 【Q11】 第一次募集の出願から本試験を経て合格発表までの入試に係る日数は、受験生にとって適切であった。

1 : そう思う	470	22.4%
2 : どちらかといえばそう思う	894	42.7%
3 : どちらかといえばそう思わない	470	22.4%
4 : そう思わない	261	12.5%
回答数合計	2095	

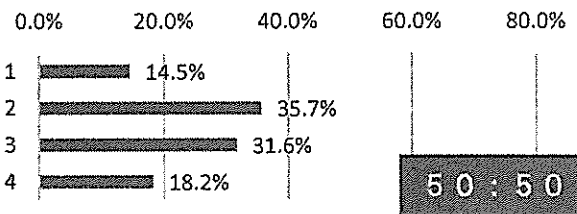


【比較】 中学校 Q18, 高等学校 Q14, 生徒 Q11

区分	主な自由記述内容【記述数354 (16.7%) 1or2の記述81, 3or4の記述273】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題ない又は妥当な期間である (多数)</li> <li>・本試験と合格発表の間に余裕がありその間に卒業式ができるのは精神的にありがたい</li> <li>・同じ条件であれば期間の長い短いはそれほど関係ない</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験日から合格発表までの期間が少し長いと感じた (多数)</li> <li>・卒業式までに進路が決まっているべきだと思う</li> <li>・第二次募集までの期間に余裕が欲しい</li> </ul>

(6) 保 (6) 【Q12】 受験生が進路を決定する際に、共通選抜だけではなく、特色選抜の選抜方法も十分考慮して進路選択を行った。

1 : そう思う	303	14.5%
2 : どちらかといえばそう思う	747	35.7%
3 : どちらかといえばそう思わない	663	31.6%
4 : そう思わない	382	18.2%
回答数合計	2095	



【比較】 中学校 Q16, 生徒 Q12

区分	主な自由記述内容【記述数223 (10.6%) 1or2の記述57, 3or4の記述166】
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の尺度で評価してもらえることはよい</li> <li>・特色選抜でこれまで頑張ってきたことを認めてもらえることはよい</li> <li>・勉強が苦手な受験生にはチャンスが与えられている</li> <li>・何か特色を持っていれば可能性が広がる</li> </ul>
課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色選抜についてはよくわからなかった (多数)</li> <li>・特色選抜をあまり考慮しなかった</li> <li>・特色選抜に関わる事柄が特になかった</li> <li>・特色選抜での選抜人数が少ないので共通選抜で考えていた</li> <li>・共通選抜と特色選抜があることを理解していなかった</li> </ul>

## 自由記述（生徒）

総回答数3,011件のうち、自由記述103件（3.4%）

※共通選抜と特色選抜について	
1 特色選抜を廃止して欲しい	2
2 特色選抜をもう少しわかりやすくして欲しい	2
※入試日程の一本化	
1 前期選抜と後期選抜に戻して欲しい	8
※入試制度について	
1 推薦入試が無くなったのが残念	4
2 ・ 評定を入試に取り入れることに疑問を感じる ・ 評定の学校間の格差をなくして欲しい	4
3 合格発表をもう少し早くして欲しい	3
4 入試制度を廃止した法がよい	3
5 評定の割合をもっと小さくして欲しい	2
6 調査書の5教科以外の評定を2倍にするのをやめて欲しい	2
7 希望調査をもう少し早く発表して欲しい	2
8 学力以外に評価する指標を導入して欲しい	2
9 公立高校を2回受験できるようにして欲しい	2
※入試問題について	
1 問題が易しすぎる	9
2 差がつくようにもっと数学の問題を難しくすべき	3
3 難関校で自校作成問題の導入を望む	3
4 数学の最終問題は正答率が極端に低く無駄である	2

## 自由記述（保護者）

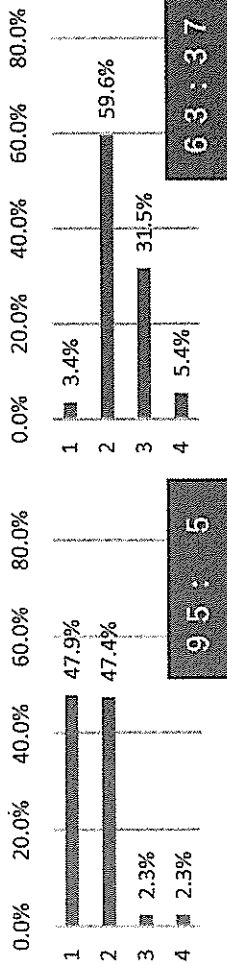
総回答数2,095件のうち、自由記述261件（12.5%）

※共通選抜と特色選抜について	
1 共通選抜か特色選抜のどちらで合格したか開示して欲しい	11
2 共通選抜と特色選抜の違いがわかりづらい	4
3 特色選抜について学校ごとに異なるのでわかりづらい	2
4 普通科での特色選抜にあまり必要がない	2
※入試日程の一本化	
1 受験日程を前倒しした方がよい、卒業式より前に合格発表をして欲しい	15
2 前期選抜と後期選抜に戻して欲しい	6
3 公立高校を2回受験できるようにして欲しい	4
4 入試制度を変更するなら中学入学前に確定したものを行うべき	3
※入試制度について	
1 ・ 評定を入試に取り入れることに疑問を感じる ・ 評定の学校間の格差をなくして欲しい	17
2 試験から合格発表までの期間があまり長いのはどうかと感じる	11
3 調査書の5教科以外の評定を2倍にするのをやめて欲しい	9
4 ・ 評定の比率が高いために、3年生から成績が向上しても挽回できない ・ 3年生で頑張ったり転校した生徒を考慮して3年生の評定で評価して欲しい	8
5 公立高校に推薦枠がないことは厳しい	8
6 合格発表から入学式までの準備期間が短すぎる（準備が大変である）	5
7 入試制度をコロコロ変更することはやめて欲しい	4
8 子どもの数が減少しているので学区制に戻して各地域バランスよくして欲しい	4
9 中学校での受験に対する情報提供や学習指導が不足している	3
10 合格発表をWEBも同時刻にして欲しい	2
11 入試制度が複雑すぎて難しい	2
※入試問題について	
1 入試問題が易しすぎる	6
2 数学の最終問題を時間内に解けるレベルにすべき	2

平成28年度実施の質問紙調査との比較による入試制度検証

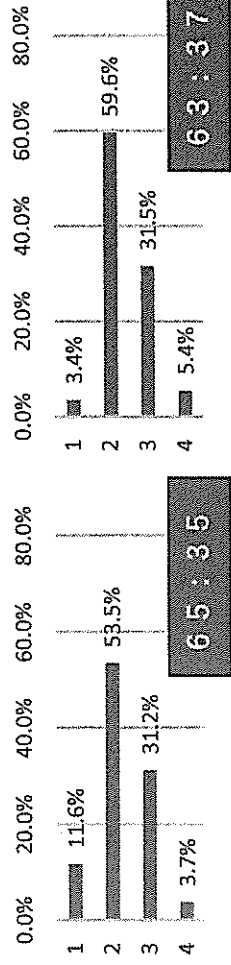
【比較1】入試制度による学習意欲への影響

中学校	H28実施 中学校	高等学校	H28実施 高等学校
中 (1) 【Q1】 高校入試という目標が、生徒が日頃の学習意欲を高めることに役立っている。	中 【Q3】 新しい入試制度は、「学習意欲の喚起・学習習慣の形成」に役立っている。		



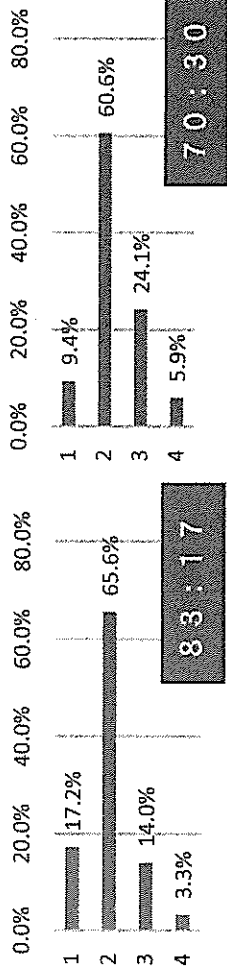
【比較2】入試制度による学習習慣の形成への影響

中学校	H28実施 中学校	高等学校	H28実施 高等学校
中 (2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、 ④【Q5】日頃の中学校生活において、生徒が学習習慣を身に付けることに役立っている。	中 【Q3】 新しい入試制度は、「学習意欲の喚起・学習習慣の形成」に役立っている。		



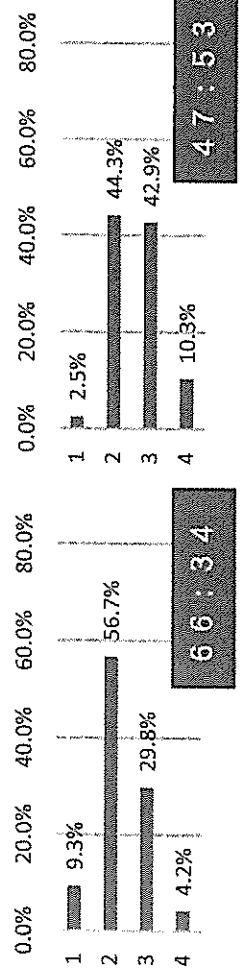
【比較3】入試制度による主体的な進路選択への影響

中学校	H28実施 中学校	高等学校	H28実施 高等学校
<p>中 (2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、</p> <p>③【Q4】受験生の意思や判断に基づいた主体的な進路選択につながっている。</p>	<p>中【Q2】新しい入試制度は、「目的意識の明確化・主体的な進路選択」に役立っている。</p>		

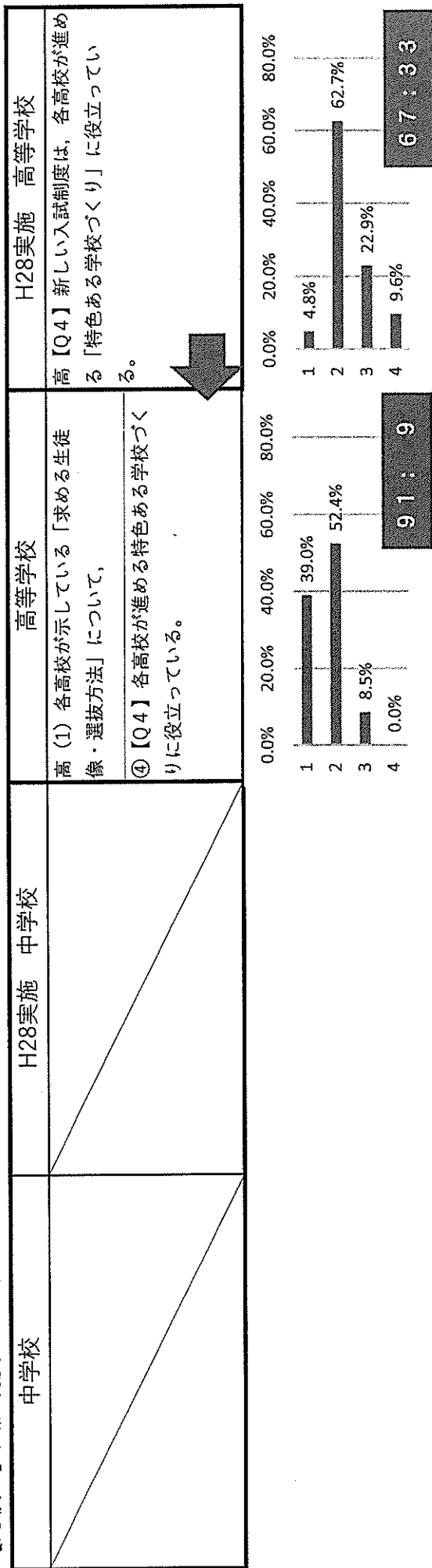


【比較4】入試制度による学校生活の充実への影響

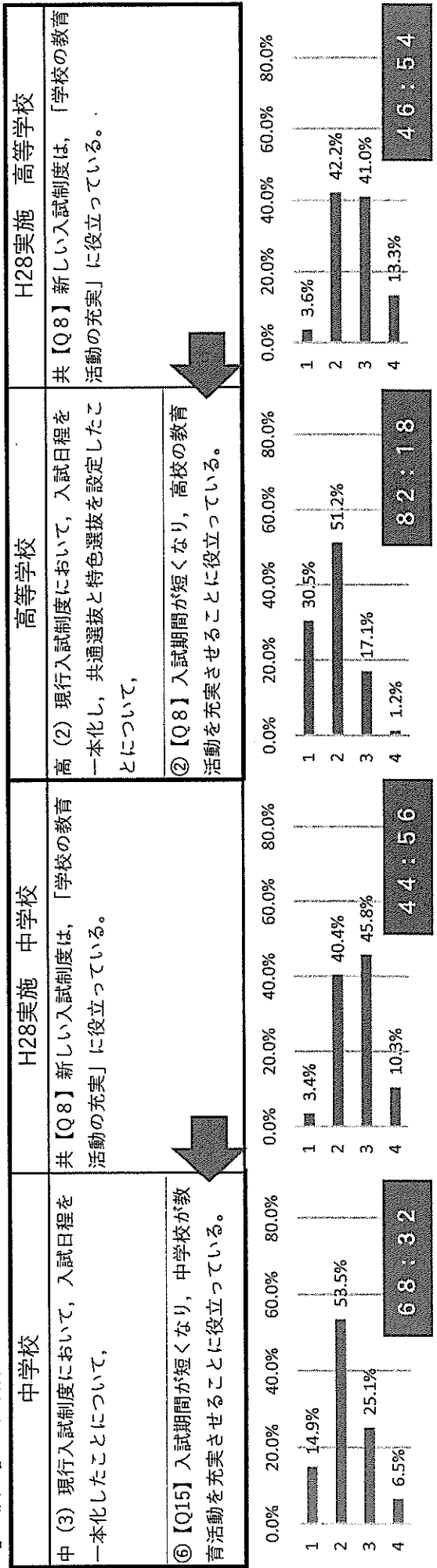
中学校	H28実施 中学校	高等学校	H28実施 高等学校
<p>中 (2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、</p> <p>⑥【Q9】生徒が志をもって中学校生活を充実させることに役立っている。</p>	<p>共【Q7】新しい入試制度は、「生徒にとって、学校生活の充実」に役立っている。</p>		



【比較5】入試制度による特色ある学校づくりへの影響

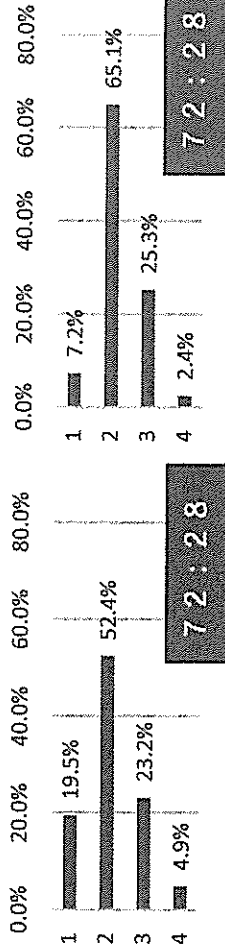


【比較6】入試期間と教育活動の充実との関係



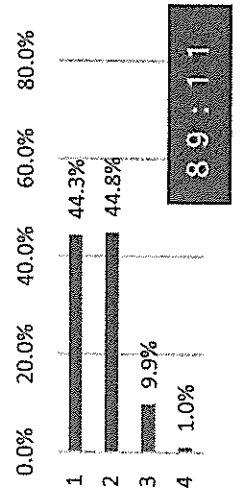
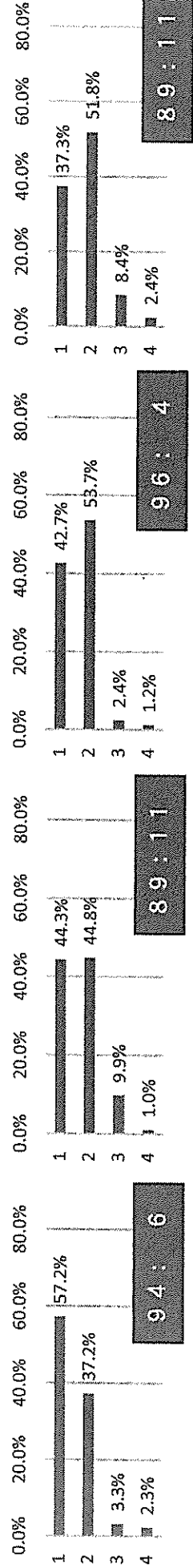
【比較7】入試制度における選抜方法への影響

中学校	H28実施 中学校	高等学校	H28実施 高等学校
	高(2) 現行入試制度において、入試日程を一本化し、共通選抜と特色選抜を設定した点について、	高【Q5】 新しい入試制度は、「期待する生徒像に沿った資質・能力の評価」に役立っている。	
	⑥【Q12】 求める生徒像に沿った資質・能力を多面的に評価することになっている。		



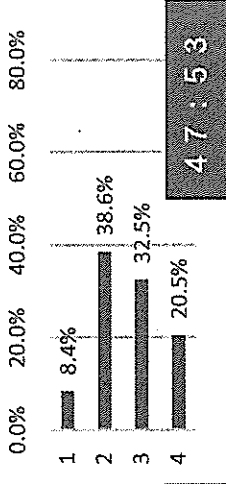
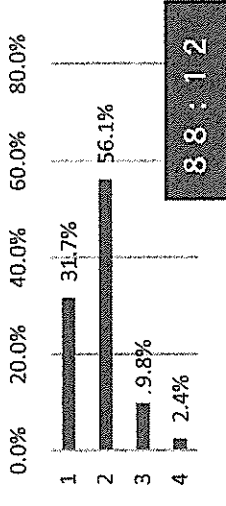
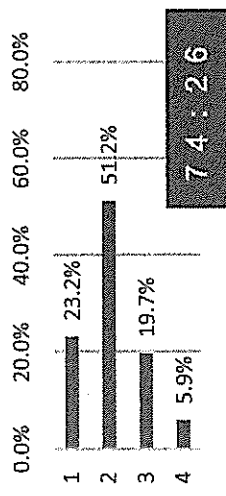
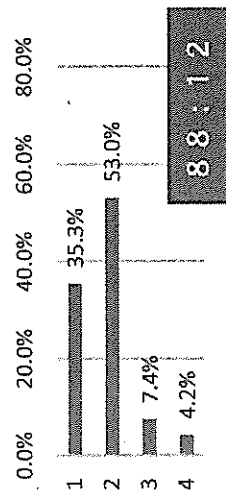
【比較8】受験生の進路選択に関する出願希望調査 (H28志願者予備調査) の影響

中学校	H28実施 中学校	高等学校	H28実施 高等学校
中(4)【Q17】 1月中旬に公表している出願希望調査は、受験生の進路選択に役に立っている。	共【Q13】 1月中旬に公表している出願希望調査は、受験生の進路選択に役立っている。	共【Q13】 志願者予備調査について	※ 1 課題がない 2 どちらかといえば課題がない 3 どちらかといえば課題がある 4 課題がある



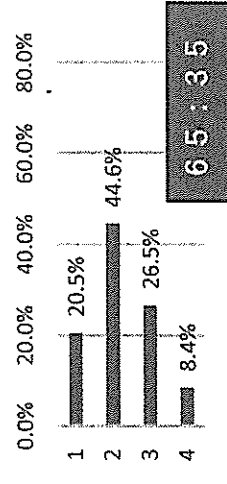
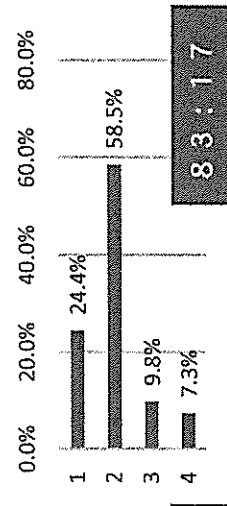
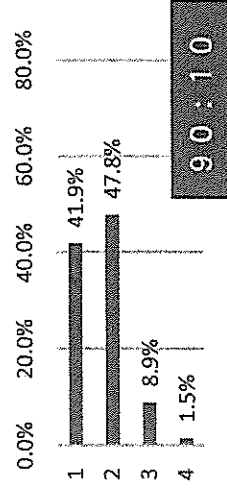
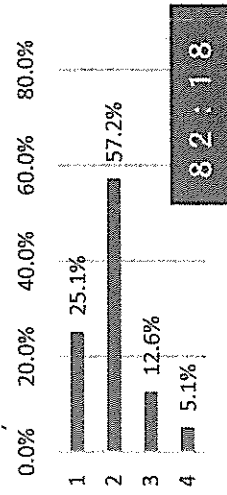
【比較9】入試全体の期間・時期に関する評価

中学校	H28実施 中学校	高等学校	H28実施 高等学校
中 (5) 現行入試制度の日程について、 ①【Q18】第一次募集の出願から第二次募集の実施までの入試に係る日数は、中学校が受験生に対応する上で適切である。	共【Q12】日程（入試全体の期間・時期）について ※1 課題がない 2 どちらかといえば課題がない 3 どちらかといえば課題がある 4 課題がある	中 (5) 現行入試制度の日程について、 ①【Q14】第一次募集の出願から第二次募集の実施までの入試に係る日数は、高校が入試を実施する上で適切である。	共【Q12】日程（入試全体の期間・時期）について ※1 課題がない 2 どちらかといえば課題がない 3 どちらかといえば課題がある 4 課題がある



【比較10】入試全体の期間・時期に関する評価

中学校	H28実施 中学校	高等学校	H28実施 高等学校
中 (5) 現行入試制度の日程について、 ③【Q20】第一次募集の合格発表から第二次募集までの日数は、中学校が受験生に対応する上で適切な期間を保障している。	共【Q11】日程（第二次募集）について ※1 課題がない 2 どちらかといえば課題がない 3 どちらかといえば課題がある 4 課題がある	中 (5) 現行入試制度の日程について、 ③【Q16】第一次募集の合格発表から第二次募集までの日数は、高校が入試を実施する上で適切な期間を保障している。	共【Q11】日程（第二次募集）について ※1 課題がない 2 どちらかといえば課題がない 3 どちらかといえば課題がある 4 課題がある





## 検証の観点及び検証事項

### ●検証の観点

- ・旧制度からの変更点の効果
- ・制度の今後一層の定着に向けての改善の方向性

### ●旧入試制度の課題

- ・複数の受験機会に確保に伴う入試期間の長期化
- ・特色ある選抜の在り方について
- ・入試事務の在り方について

### ●検証事項

- 検証1 前期選抜と後期選抜の入試日程を一本化し、入試期間の長期化を解消
- 検証2 各高等学校の特色をより明確に示した上で、その特色に基づいて、学力と同時に生徒の資質・能力についても多面的に評価
- 検証3 各高等学校が求める生徒像を提示することで、中学生の目的意識の明確化及び主体的な進路選択を促進
- 検証4 入試期間における入試事務及び入試以外の業務の負担軽減

### ○検証1 前期選抜と後期選抜の入試日程を一本化し、入試期間の長期化を解消

#### (1) 旧制度の課題

- ・前期選抜不合格による挫折体験からの精神的回復期間の確保が必要である。
- ・出願条件のため、「入りたい高校」ではなく「受験できる高校」を受験生が選択する傾向が強くなった。
- ・授業に対する前期選抜合格者の意欲の低下及び後期選抜受験者との間の温度差が生じた。

#### (2) 検証の視点

新制度では、前期選抜と後期選抜の入試日程を一本化することとした。前期選抜に関する課題の改善及び長期化により生じた負担等の改善は図られたか。

#### (3) 検証のまとめ

- ア 前期選抜で課題であった多くの受験生の不合格体験（挫折体験）を生じることがなくなった。
- イ 出願条件を撤廃したことにより、すべての受験生が入りたい高校を選択することが可能となった。
- ウ 前期選抜合格者の学力と授業へのモチベーションを3月まで保たせることや合格した生徒とこれから受験する生徒が混在したクラス運営の課題で改善が見られたが、国立や私立の受験もあり、引き続き検討が必要である。

○検証2 各高等学校の特色をより明確に示した上で、その特色に基づいて、学力と同時に生徒の資質・能力についても多面的に評価

(1) 旧制度の課題

- ・定員の少ない前期選抜は出願倍率が高くなり、不合格者数が増加した。
- ・前期受験者は、国語、数学、英語の3教科に力をいれ、社会及び理科を軽視する傾向が見られるようになった。

(2) 検証の視点

新制度では、入試日程を一本化して1回の学力検査の受験により、学力に基づく共通選抜と特色に基づく特色選抜の2つの方法で選抜することとした。その効果はどうであったか。

(3) 検証のまとめ

- ア 前期選抜と後期選抜の入試日程を一本化したことにより不合格者数が減少した。
- イ 第一次募集に共通選抜と特色選抜を設定したことにより、受験生の多様な能力・適正等を多面的に評価することを可能としたが、特色選抜の不透明さや共通選抜と特色選抜の割合など引き続き検討が必要である。

○検証3 各高等学校が求める生徒像を提示することで、中学生の目的意識の明確化及び主体的な進路選択を促進

(1) 旧制度の課題

- ・前期選抜の出願条件は、具体的な指標が示され明確であったが、平等な受験機会の確保に支障があった。
- ・前期選抜に出願する生徒と出願しない生徒で目的意識や進路選択への意欲に大きな格差が生じた。

(2) 検証の視点

新制度では、各高等学校の特色を「求める生徒像」として明確に示し、目的意識や学習習慣の向上等、中学校と高校の接続としての高校入試の位置づけを明確にした。その効果はどうであったか。

(3) 検証のまとめ

- ア 「求める生徒像」を明確に示したことにより、目的意識が向上し、主体的な進路選択をする受験生が増加した。
- イ 「求める生徒像」は、各高校がそれぞれ明確にすることにより、将来を意識するとともに、内容を意識して中学校生活を過ごす生徒が増加した。
- ウ 「求める生徒像」の記載内容や表現については、生徒や保護者の意見も踏まえて引き続き検討が必要である。

#### 検証4 入試期間における入試事務及び入試以外の業務の負担軽減

##### (1) 旧制度の課題

- ・前期選抜志願者の増加により、学校独自検査に係る指導や入試事務作業量の増加及び教員の多忙化が課題となった。
- ・入試事務と定期考査、学年末の事務整理等の期間重複による事務作業の煩雑化した。
- ・入試期間の長期化により、教育活動及び在校生への学習指導に支障が生じた。

##### (2) 検証の視点

新制度では、入試日程を一本化することにより、入試期間を短縮することができた。その効果はどうであったか。

##### (3) 検証のまとめ

- ア 前期選抜と後期選抜を一本化することにより、入試事務の回数が減少した。
- イ 入試期間が短縮され、教育活動や在校生への指導に時間を割けるようになった。
- ウ 受験機会の確保の措置として導入した追試験は受験生に安心感を与えたが、3月に第一次募集及び追試験、第二次募集と追試験を実施する高校や第二次募集を実施する高校は日程が非常に窮屈である。日程については引き続き検討が必要である。

(調査研究)「新入試制度の実施状況の評価及び今後の定着に向けての改善の方向性」

1 調査研究の目的

令和2年度からスタートした新入試制度について、これまで3カ年の実施状況を踏まえ、主に旧制度からの変更点についてその効果を評価するとともに、併せて、新制度の今後一層の定着に向けての改善の方向性についての検討を行い、入学者選抜制度の改善に資する。

2 審議の経過

(1) 第1回専門委員会(令和4年9月27日 県庁)

- (調査研究)「新入試制度の実施状況の評価」
  - ・ 3カ年の宮城県公立高等学校入学者選抜結果の検討
  - ・ 宮城県公立高等学校入学者選抜に係る質問紙調査集計結果分析

(2) 第2回専門委員会(令和4年10月20日 県庁)

- (調査研究)「新入試制度の実施状況の評価」
  - ・ 宮城県公立高等学校入学者選抜に係る質問紙調査集計結果詳細分析
- (調査研究)「今後の定着に向けての改善の方向性」
  - ・ 今後一層の定着に向けての課題の焦点化

3 今後の予定

第3回専門委員会(令和5年6月頃 県庁)

- (調査研究)「今後の定着に向けての改善の方向性」
- (検討)「高等学校入学者選抜審議会報告」

令和5年度第1回高等学校入学者選抜審議会(令和5年7月頃 県庁)

- (報告)「新入試制度の実施状況の評価及び今後の定着に向けての改善の方向性」